

# 可能表現

## 1. 可能表現とは

可能 (potential) とは、「人間や動物などの有情物（ときに非情物）が、ある動きを意志的に行おうとすると、それを実現することができる（肯定文の場合）／できない（否定文の場合）」といった意味を表す、動詞の文法的・意味的なカテゴリーのことをいう（渋谷 2006：59-60）。

可能を表す共通語の形式には、以下のようなものがある。

- (1) この子は一人で服を着られる。(可能助動詞) …接辞類A
- (2) この子は難しい漢字が読める。(可能動詞) …接辞類B
- (3) この子は逆上がりができる。(デキル)
- (4) この子は難しい漢字を読むことができる。(スルコトガデキル)
- (5) 新幹線に乗れば、午前中に東京に着くことが可能だ。(スルコトガ可能ダ)

このうち中心となる可能形式は接辞類であるが、共通語では、多段型動詞は基幹工段形に「ル」が付く形（接辞類B）を用い、一段型動詞は基幹（＝語幹）に、「来る」は基幹才段形「コ」に「ラレル」が付く形（接辞類A）を用いる。一段型動詞と「来る」では、「ラレル」が付く形と同じ基幹に「レル」が付く形（接辞類B）も用いられるようになってきているが、この形は「ら抜きことば」と呼ばれ、あらたまった場面や規範性の高い文章のなかでは使用が避けられる。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」には接辞類の形がなく、代替動詞「できる」を用いる。

渋谷（2006）は、可能であることの条件によって可能の意味を心情可能、能力可能、内的条件可能、状況可能（外的条件可能）の4つに分類している。以下、渋谷（2006）の記述を抜粋する。

心情可能：動作主体の内部に永続的に存在する心情（性格）的な条件（性格や気持ち、勇気など）によって（可能／）不可能であることを主観的に述べるもの。

- ・あの崖の上なんかこわくて歩けない。

能力可能：動作主体の内部にほぼ永続的に存在する能力的な条件によって可能／不可能であることを客観的に述べるもの。

- ・私は全然お酒が飲めない。(生得能力)
- ・ダンスを習っているが、まだうまく踊れない。(獲得能力)
- ・こんなに重い物は持てない。(肉体的力)
- ・うちの子はまだ漢字が読めない。(知識)

内的条件可能：動作主体内部の、病気や気分などの一時的な条件によって、可能／不可能であることを述べるもの。

- ・今日は風邪をひいていて学校に行けない。(内的条件)
- ・足をケガしていて早く歩けない。(内的条件)

状況可能：（動作主体は一般に行為を遂行する能力をもっているが）動作主体を取り巻く外部の条件がその遂行を可能にし（肯定文）、または妨げる（否定文）ということを客観的に述べるもの。

- ・今日は忙しくて郵便局に行けない。(一時的な条件)
- ・この魚は十分に焼けていないからまだ食べられない。(対象の一時的な条件)
- ・この魚は骨が多くて食べられない。(対象の永続的な条件)

（渋谷 2006：65-66 より抜粋）

## 2. 可能表現の歴史

現代語（共通語）の可能形の派生接辞のうち、接辞類A「(ラ)レル」（一段型活用）は、古代語の「(ラ)ル」（二段型活用）を直接の由来としている。接辞類Aは受身形と同形であり、接辞類Aの古形である「(ラ)ル」（および上代語の「(ラ)ユ」）は、受身、自発の用法が古く、可能、尊敬の用法は後発的なものだとされている。この形式に可能用法が確立するのは中世期以降であるが、中世後期から近世期にかけて多段型動詞に接辞類Bにあたる形式（可能動詞）が現れ、接辞類Aの可能用法は一段型動詞および「来る」に限定されることになった（近世期における可能動詞の成立過程については青木（2010）を参照されたい）。近代に入り昭和初期には、一段型動詞・「来る」にも接辞類Bによる可能形に相当するいわゆる「ら抜きことば」が発生し、現代語（共通語）では、接辞類Bが可能の専用形式として定着しつつある。

ここで、渋谷（1993）をもとに、各時代の可能形式（自発との区別があいまいなものも含む）の概略を示す。まず、上代語の可能（自発）形式には、接辞「(ラ)ユ」・「ル」、補助動詞「ウ」、副詞「エ」がある。中古語では、接辞「(ラ)ル」、補助動詞「ウ」、副詞「エ」が可能（自発）形式として用いられている。中世語では、接辞「(ラ)ルル」、補助動詞「ウ」、副詞「エ」に加えて、「カナフ」「ナル」および可能動詞（接辞類Bによる可能形）とみられるものが現れる。この時期には、「(ラ)ルル」の用例数の割合が副詞「エ」を上回るようになり、用法も否定・反語表現に多用されるようになる。これについて渋谷（1993）は、「一般に可能表現が否定・反語表現に多用されることに鑑みて、前代においてはもっぱら自発を表す形式であった助動詞(ラ)ルルが、可能を（も）表す形式に変化したことを意味する」と述べている（渋谷 1993：88）。

近世江戸語には、接辞類「(ラ)レル」、可能動詞、補助動詞「エル」、ナル、デキルなどの可能形式があり、「副詞「エ」は、会話の中で上方語が用いられる場合、あるいは古典語が引用される場合に現れることはあっても、江戸語において日常的に用いられた形跡はない」（渋谷 1993：99）。一方、近世後期上方語では、接辞類「(ラ)レル」、可能動詞、補助動詞「エル」、ナル、デキル、副詞「エ」「ヨー」が用いられており、現代語諸方言にみられる副詞「ヨー」の地域差がこの時期には生じていたことがわかる。

## 3. 諸方言の可能表現

### 3.1 可能形式の類別

要地方言活用体系記述で報告された各地方言の可能形式は、接辞類、補助用言類、副詞類に大別される。本土諸方言のそれぞれの形式と動詞との接続については以下のように整理される。

#### (1) 接辞類

		多段型動詞	一段型動詞	来る	する
(ラ)レル系	接辞類A	基幹ア段形+レル	基幹+ラレル	コ+ラレル	(サ+レル) <sup>1)</sup>
(レ)ル系	接辞類B	基幹エ段形+ル	基幹+レル	コ+レル	(シェ+ル) <sup>2)</sup>
(レ)レル系 <sup>3)</sup>	接辞類C	基幹エ段形+レル	基幹+レレル	コ+レレル	(該当形 欠)
	接辞類C'	基幹エ段形+エル	基幹+レエル	コ+レエル コ+エエル	(該当形 欠)
(ラ)ユル系 <sup>4)</sup>	接辞類D	基幹ア段形+ユル	基幹+ラユル	キ+ヤユル	サ+ユル
(ラ)サル系 <sup>5)</sup>		基幹ア段形+サル	基幹+ラサル	コ+ラサル	サ+サル

1) この形をもたず代替動詞「デキル」を用いる方言が多いが、基幹ア段形「サ」に「レル」が付く形をもつ方言もある（秋田県由利本荘市本荘方言）。

- 2) この形をもたず代替動詞「デキル」を用いる方言が多いが、基幹エ段形「セ（当該方言ではシェ）」に「ル」が付く形をもつ方言もある（秋田県由利本荘市本荘方言）。
- 3) 接辞類Bの可能形（可能動詞）に接辞類Bを付した二重可能形。
- 4) 長崎県佐世保市宇久町方言にみられる。近隣の方言には補助用言類のユル系がみられることから、これと接辞類の混交により生じたものとみられる。
- 5) 岩手県盛岡市方言にみられる。この方言には自発形の派生接辞「(ラ)サル」があり、これが可能用法まで意味拡張したものである。

## (2) 補助用言類

	多段型動詞	一段型動詞	来る	する
エル系	基幹イ段形+エル	基幹+エル	キー+エル	(該当形 欠)
ユル系	基幹イ段形+ユル	基幹+ユル	キー+ユル	シー+ユル
キル系	基幹イ段形+キル	基幹+キル	キ(一)+キル	シ(一)+キル
オーセル系	基幹イ段形+オーセル	基幹+オーセル	キ+オーセル	シ+オーセル
ダス系	基幹イ段形+ダス	基幹+ダス	キ+ダス	シ+ダス
ガナル系	基幹イ段形+ガナル	基幹+ガナル	キ+ガナル	シ+ガナル
ニイー系	基幹ウ段形+ニイー	基幹+ル+ニイー	クル+ニイー	スル+ニイー

## (3) 副詞類

ヨー、イエー、エー、ケッコー

- ・動詞に係る。係先の動詞が可能形の場合もある。また、否定形に限定されるものもある。

## 3.2 可能形式の表現体系

1 にあげた共通語の可能形式は能力可能や状況可能といった可能の意味を区別しない汎用の可能形であるが、諸方言にはこれらの意味を区別する形式を持つものがある。また、1 にみた共通語の接辞類のように、動詞の活用の種類によって異なる可能形式を用いる方言や、肯定形と否定形とで異なる可能形式を用いる方言もある。以上をふまえた可能形式の使い分けのパターンは、表1のように整理される。

表1 可能形式の使い分けのパターン

		多段型動詞				一段型動詞			
		肯定		否定		肯定		否定	
		能力	状況	能力	状況	能力	状況	能力	状況
区別なし		<b>X</b>							
区別あり	i 動詞の種類	<b>Y</b>	<b>Y</b>	<b>Y</b>	<b>Y</b>	<b>Z</b>	<b>Z</b>	<b>Z</b>	<b>Z</b>
	ii 肯定・否定	<b>Y</b>	<b>Y</b>	<b>Z</b>	<b>Z</b>	<b>Y</b>	<b>Y</b>	<b>Z</b>	<b>Z</b>
	iii 可能の意味	<b>Y</b>	<b>Z</b>	<b>Y</b>	<b>Z</b>	<b>Y</b>	<b>Z</b>	<b>Y</b>	<b>Z</b>

要地方言活用体系記述の報告をもとに、本土諸方言の可能形式の表現体系を表2のように整理した。なお、活用表にあげられていなくても、解説本文に記載のある形式は表2に書き出してある。接辞類には網掛けをし、接辞類A～C'は凡例に示すように記号に置き換えている。

表 2 本土諸方言の可能形式の表現体系

	凡例	接辞類A ○	接辞類B ◎	接辞類C ●	接辞類C' ●'	接辞類D ○	多段型動詞				一段型動詞			
							肯定		否定		肯定		否定	
							能力	状況	能力 (心情)	状況	能力	状況	能力 (心情)	状況
01	北海道北見市常呂町岐阜方言	◎	◎					ヨー	ヨー	◎	◎	ヨー	ヨー	
02	青森県五所川原市方言	ニイー	ニイー	○	○			ニイー	ニイー	○	○	○	○	
03	岩手県盛岡市方言	◎	ニイー	◎	◎			◎	ニイー	◎	◎	◎	◎	
04	宮城県仙台市方言	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
05	秋田県由利本荘市本荘方言	◎	ニイー	◎	○			◎	ニイー	◎	○	◎	○	
06	山形県山形市方言	ニイー	ニイー	○	○			ニイー	ニイー	○	○	○	○	
07	福島県福島市方言	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
08	茨城県水海道方言	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
10	群馬県藤岡市方言	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
12	千葉県南房総市三芳方言	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
13-1	東京都方言	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
13-2	東京都八丈島三根方言	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
14	神奈川県大和市方言	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
15-1	新潟県新潟市方言	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
15-2	新潟県魚沼市方言	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
16	富山県富山市方言	(○)	○	(○)	○			(○)	○	(○)	○	(○)	○	
17	石川県能登島方言	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
18-1	福井県大野市方言	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
18-2	福井県坂井市三国町安島方言	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
19	山梨県甲府市方言	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
20	長野県茅野市方言	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
21-1	岐阜県高山市方言	○	○	○	○			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
21-2	岐阜県岐阜市方言	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
21-3	岐阜県中津川市方言	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
22	静岡県湖西市方言	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
23	愛知県新城市作手方言	◎	◎	◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	
				エル	エル			エル	エル	エル	エル	エル	エル	
				ヨー	ヨー			ヨー	ヨー	ヨー	ヨー	ヨー	ヨー	

25-1	滋賀県長浜市方言	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	○ ○ ヨー	○ ○ ヨー
25-2	滋賀県湖東方言	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	○ ○ ヨー	○ ○ ヨー
26	京都府京都市方言	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー
27	大阪府方言	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー
28	兵庫県神戸市方言	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー
30	和歌山県田辺市龍神方言	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー
31	鳥取県倉吉市方言	○ ○ ◎ ◎ ● ●	○ ○ ◎ ◎ ● ●	○ ○ ◎ ◎ ● ●	○ ○ ◎ ◎ ● ●
32	島根県出雲市平田方言	○ ○ ◎ ◎	○ ○ ◎ ◎	○ ○ ◎ ◎	○ ○ ◎ ◎
33	岡山県岡山市方言	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー
34	広島県三次市方言	○ ○ ◎ ◎ (ヨー) ケツコー	○ ○ ◎ ◎ ヨー	○ ○ ◎ ◎ (ヨー) ケツコー	○ ○ ◎ ◎ ヨー
35	山口県東周防方言	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー
37	香川県高松市方言	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	○ ○ ヨー	○ ○ ヨー
38-1	愛媛県松山市方言	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー
38-2	愛媛県大洲方言	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	○ ○ ヨー	○ ○ ヨー
39	高知県宿毛市方言	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー	◎ ◎ ヨー
40-1	福岡県福岡市方言	キル ○ ◎ ◎	キル ○ ◎ ◎	キル ○ ◎ ◎	キル ○ ◎ ◎
40-2	福岡県柳川市方言	○ ○ キル	(○) ○ キル	○ ○ キル	(○) ○ キル
41	佐賀県武雄市北方方言	○? ○? ユル? ユル?	○? ○? ユル? ユル?	○? ○? ユル? ユル?	○? ○? ユル? ユル?
42-1	長崎県雲仙市南串山町鬼池方言	エル エル ユル ユル キル キル	エル エル ユル ユル キル キル	エル エル ユル ユル キル キル	エル エル ユル ユル キル キル
42-2	長崎県佐世保市宇久町方言	○ ○ キル	○ ○ キル	○ ○ キル	○ ○ キル
44-1	大分県由布市庄内町方言	キル ○ ◎ ◎ ● ●	キル ○ ◎ ◎ ● ●	キル ○ ◎ ◎ ● ●	キル ○ ◎ ◎ ● ●
44-2	大分県日田市天瀬町方言	キル ○ ● ※	キル ○ ● ※	キル ○ ● ※	キル ○ ● ※
46-1	鹿児島県鹿児島市方言	○ ○ ガナル ガナル	○ ○ ガナル ガナル	○ ○ ガナル ガナル	○ ○ ガナル ガナル
46-2	鹿児島県甑島里方言	○ ○ キル ガナル ダス ダス	○ ○ キル ガナル ダス ダス	○ ○ キル ガナル ダス ダス	○ ○ キル ガナル ダス ダス

※内的条件可能

表2により本土諸方言を俯瞰すると、まず可能形式として接辞類AもしくはBを使用しない方言はないことがわかる。(ラ)レル系(接辞類A)と(レ)ル系(接辞類B)は、可能を表す基本的な形式であると言える。

接辞類A・Bは歴史的にみてAが古くBが新しい。接辞類Bは多段型動詞で先に定着し、一段型動詞での使用は遅れる。また、接辞類Cは接辞類Bの可能形(可能動詞)に接辞類Bが接続した二重可能形であるため、接辞類Bの成立後に生じた形と言える。以上をふまえて、動詞の種類による接辞類A・B・Cの併用パターンを整理すると、表4のようになる。多段型動詞で接辞類Aを用いる方言が日本列島の周辺地域に多いこと、接辞類Cは接辞類Bが定着している方言にみられ、可能動詞の発達の早かった多段型動詞で用いられやすいことなどが読み取れる。

表3 動詞の種類による接辞類A・B・Cの併用パターン

併用型	多段型動詞	一段型動詞	要地方言
Aのみ	A	A	山形／茨城／福井(坂井市)／福岡(柳川市)／長崎(佐世保市宇久町)／鹿児島(鹿児島市)／鹿児島(甕島里)
A/B併用	A/B	A	福島／長崎(雲仙市)
	A/B	A/B	青森／岩手／秋田／宮城／東京(八丈島)／新潟(新潟市)／新潟(魚沼市)／石川／福井(大野市)／和歌山／島根／広島／福岡(福岡市)
	B	A/B	群馬／東京(都内)／神奈川／京都*／岡山／山口／愛媛(松山市)
	B	A	千葉／滋賀(長浜市)／滋賀(湖東)／香川／愛媛(大洲)
Bのみ	B	B	北海道／大阪*／兵庫*／岐阜(中津川市)
A/BとC併用	A/B/C	A/B/C	富山
	A/B/C	A/B	鳥取／大分(由布市)
	A/B/C	B	岐阜(高山市)
	A/C	A/C	大分(日田市)
	B/C	B/C	山梨／長野／高知
	B/C	B	岐阜(岐阜市)／静岡／愛知

※京都府京都市方言、大阪府方言、兵庫県神戸市方言は肯定形のみで判定した(否定形で接辞類Aが現れるのはヘン類による単純否定形との競合関係があるため)。

接辞類と併用される補助用言類、副詞類の可能形式をもつ方言では、これら可能形式の使い分けによって、可能の意味が区別される場合がある。可能の意味の区別の有無によって諸方言を類別すると、以下の3つのタイプに大別される。

- (a) 複数の可能形式がいずれも汎用の可能形として用いられる。
- (b) 能力可能と状況可能で形式の区別がある。
- (c) 可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と、能力可能専用の可能形がある。

複数の可能形式をもつ場合であっても、(a)のようにそれぞれの形式が汎用の可能形として用いられる方言もある。(b)は複数の可能形式が能力可能と状況可能のそれぞれの意味を分担しているもので、補助用言類のニイ一系、キル系を含む表現体系にみられるものである。(c)は副詞類を含む表現体系にみられる。この違いは、補助用言類が述語の表現形式として接辞類と競合し得るのに対し、副詞類は接辞類とそうした競合関係にないことによって生じたものと思われる。

表4 可能の意味区別のある表現体系

		肯定		否定		要地方言
		能力	状況	能力	状況	
補助用言類を含む表現体系	(b)能力可能と状況可能で形式の区別がある	接辞類B	ニイー	接辞類B	接辞類A	岩手／秋田
		キル	接辞類	キル	接辞類	大分(由布市)／大分(日田市)
		キル 接辞類B	接辞類A 接辞類B	キル 接辞類B	接辞類A 接辞類B	福岡(福岡市)
		キル 接辞類D	接辞類A	キル 接辞類D	接辞類A	長崎(佐世保市)
副詞類を含む表現体系	(c)汎用の可能形と能力可能専用の可能形がある	接辞類 キル	接辞類	接辞類 キル	接辞類	福岡県(柳川市)／鹿児島(甑島里)
		接辞類 ヨー	接辞類	接辞類 ヨー	接辞類	滋賀県(長浜市)／京都／大阪／香川／高知
		接辞類	接辞類	接辞類 ヨー	接辞類	岐阜(高山市)／岐阜(岐阜市)／愛知／滋賀(湖東)／兵庫／和歌山／鳥取／岡山／山口／愛媛(松山市)
		接辞類 (ヨー) ケッコー	接辞類	接辞類 ヨー	接辞類	広島

本土諸方言の可能形式の表現体系をみると、受身形と同形の接辞類Aに対して可能の専用形式を生み出していく過程が読み取れる。おおむね中央部では接辞類Bを発達させることで可能の専用形を確保する方向にあるが、周辺部に位置する東北、九州では、補助動詞類の可能形式を発達させることで可能の専用形式を確保し、旧来の形式である接辞類Aと新たに受容した接辞類Bを地域独自の表現体系に組み込んでいる。

### 3.3 琉球諸方言の可能表現

琉球諸方言の可能表現をみてみると、表5に示すようにいずれの方言も受身形と同形の接辞類Aに相当する可能形を使用している。また、受身形とは異なる形式(動詞由来の補助用言類)をもつ方言もあり、可能の意味区別を生じている方言では、補助用言類が能力可能の専用形式となっている。本土諸方言の周辺部(特に九州)と同様の表現体系を生み出していることがわかる。

表5 琉球諸方言の可能表現

琉球諸方言	接辞類A		補助用言類	
那覇市首里方言	(ラ)リーン	状況可能	ユースン	能力可能
宮古島市平良下里方言	(ラ)イイウ	(汎用)	ウーシウ	(汎用)
宮古島市久松方言	(ラ)レーヅ	(汎用)		
多良間島方言	(ラ)イリ°	(汎用)		
竹富町黒島方言	(ラ)リル	(汎用)	ツセン	能力可能
与那国方言	(ラ)リルン	状況可能	ツン	能力可能

#### 参考文献

- 青木博史(2010)「可能動詞の成立」『語形成から見た日本語文法史』ひつじ書房  
 渋谷勝己(1993)「日本語可能表現の諸相と発展」『大阪大学文学部紀要』33-1  
 渋谷勝己(2006)「自発・可能」『シリーズ方言学2 方言の文法』岩波書店

(日高水穂)

## 要地方言活用体系記述 可能形

### 【活用表抜粋】

番号	要地方言	活用形	多段型 書く	一段型 見る	来る	する	多段型 特殊	二段型/三段型
01	北海道北見市常呂町岐阜方言	可能肯定	カケル	ミレル	コラレル コレル	《デキル》		
		可能否定	ヨー カケン ヨー カカン	ヨー ミレン ヨー ミン	ヨー コラレン ヨー コレン ヨー コン	《ヨー デキン》 ヨー セン		
02	青森県五所川原市方言	可能肯定	カゲル カグニイー	ミレル ミ(ル)ニイー	コレル ク(ル)ニイー	サイル ス(ル)ニイー 《デギル》		
		可能否定	カゲネ カガイネ	ミレネ ミライネ	コレネ コライネ	《デギネ》 サイネ		
03	岩手県盛岡市方言	可能肯定	カケル カクニイー	ミレル ミルニイー	コレル クルニイー	サレル スルニイー		
		可能否定	カケネア カカレネア カカサラネア	ミレネア ミラレネア ミラサラネア	コレネア コラレネア コラサラネア	シエネア サレネア ササラネア		
04	宮城県仙台市方言	可能	カカレル カクニイー カケル	ミラレル ミンニイー	コラレル クンニイー	《デキル》 スンニイー		
05	秋田県由利本荘市本荘方言	可能肯定	カケル カク(ニ)エー	ミレル ミル(ニ)エー	コレル クル(ニ)エー	シエル シル(ニ)エー シ(ニ)エー		
		可能否定	カケネア カカエネア	ミレネア ミラエネア	コレネア コラエネア	シエネア サエネア		
06	山形県山形市方言	可能肯定	カクイ	ミルイ	クルイ	スルイ		
		可能否定	カカンネ	ミランネ	コランネ	サンネ		
07	福島県福島市方言	可能	カガレル カゲル	ミラレル	コラレル	(一段型)		
08	茨城県水海道方言	可能	カケル	ミラレル	キラレル	デキル		
10	群馬県藤岡市方言	可能	カケル	ミラレル ミレル	コラレル コレル キラレル	《デキル》		
12	千葉県南房総市三芳方言	可能	カエル	ミラレル	コラレル	シラレル		
13-1	東京都方言	可能	カケル	ミラレル ミレル	コラレル コレル	《デキル》		
13-2	東京都八丈島三根方言	可能	カカレロワ カケロワ	ミラレロワ ミレロワ	コラレロワ コレロワ クレロワ	サレロワ		
14	神奈川県大和市方言	可能	カケル	ミレル	コレル	《デキル》		
15-1	新潟県新潟市方言	可能	カケル カカレル	ミレル ミラレル	コレル コラレル	《デキル》		
15-2	新潟県魚沼市方言	可能	カケル △カカレル	ミレル △ミラレル	コレル △コラレル	《デキル》		
16	富山県富山市方言	可能	カケル カカレル カケル	ミレル ミラレル ミレエル	コレル コラレル コレエル	《デキル》 △シラレル		
17	石川県能登島方言	可能	カケル カカレル	ミレル ミラレル	コレル コラレル	《デキル》		
18-1	福井県大野市方言	可能	カケル	ミレル	コレル	《デキル》		
18-2	福井県坂井市三国町安島方言	可能	カカレル	ミラレル	コラレル	《デキル》	食う ッファレル	
19	山梨県甲府市方言	可能	カケル カケレル	ミレル ミレレル	コレル コレレル	《デキル》 《デル》		
20	長野県茅野市方言	可能	カケレル カケル カケール	ミレレル ミレル ミレール	コレレル コレル キエール	(該当形 欠) シエール		
21-1	岐阜県高山市方言	可能	カケル カカレル カケレル	ミレル ミラレル	コレル コラレル	《デキル》 シレル		
21-2	岐阜県岐阜市方言	可能肯定	カケル カケレル	ミレル	コレル	《デキル》 シレル		
		可能否定	カケン カケレン ヨー カカン ヨー カカヘン	ミレン ミレーヘン ヨー ミン ヨー ミーヘン	コレン コレーヘン ヨー コン ヨー コーヘン	《デキン》 シレン ヨー ジン ヨー シーヘン		
21-3	岐阜県中津川市方言	可能	カケル	ミレル	コレル	《デキル》		
22	静岡県湖西市方言	可能	カケル カケレル	ミレル	コレル	《デキル》		
23	愛知県新城市作手方言	可能	カケル カケレル	ミレル	コレル	《デキル》 《デキレル》		

25-1	滋賀県長浜市方言	可能	カケル ヨー カク	ミラレル ヨー ミル	コラレル ヨー クル	ヨー スル 《デキル》 《デケル》		
25-2	滋賀県湖東方言	可能肯定	カケル	ミラレル ミレル	コラレル コレル △キラレル	《デキル》 《デケル》 △シラレル		
		可能否定	カケヘン カケン ヨー カカン	ミラレヘン ミレヘン ミラレン ミレン ヨー ミン	コラレヘン コレヘン コラレン コレン △キラレヘン △キラレン ヨー コン	《デキヘン》 《デケヘン》 《デキン》 《デケン》 △シラレヘン △シラレン ヨー セン		
26	京都府京都市方言	可能	ヨー カク カカレル カケル	ヨー ミル ミラレル ミレル	ヨー クル コラレル コレル	ヨー スル 《デキル》 《デケル》		
27	大阪府方言	可能肯定	カケル ヨー カク	ミレル ヨー ミル	コレル ヨー クル	《デキル》 《デケル》 ヨー スル		
		可能否定	カカレヘン ヨー カカン	ミラレヘン ヨー ミン	コラレヘン ヨー コン	《デキヘン》 《デケヘン》 ヨー セン		
28	兵庫県神戸市方言	可能肯定	カケル	ミレル	コレル	ヨー スル 《デキル》		
		可能否定	ヨー カカン カカレヘン カケヘン	ヨー ミン ミラレヘン	ヨー コン コラレヘン	ヨー セン デキヘン		
30	和歌山県田辺市龍神方言	可能肯定	カケル	ミラレル ミラルル ミレル	コラレル コラルル コレル キヤレル	《デキル》		
		可能否定	カケン カカレン ヨー カカン	ミラレン ヨー ミラン	コラレン キヤレン	《デキン》		
31	鳥取県倉吉市方言	可能	カケル カケレル カカレル	ミレル ミラレル	コレル コラレル	△シラレル △スラレル 《デキル》	死ぬ シネル	
32	島根県出雲市平田方言	可能	カカエー カケー	ミラエー ミエー	コラエー	サレー	死ぬ スイナエー	
33	岡山県岡山市方言	可能肯定	カケル	ミレル ミラレル	コレル コラレル	《デキル》	死ぬ シネル 死ぬ シネン	
		可能否定	カケン ヨーカカン	ミレン ヨーミン	コレン ヨーコン	デキン ヨーセン	死ぬ ヨーシナン	
34	広島県三次市方言	可能肯定	カケル カカレル ケッコー カク ヨー カク	ミラレル ケッコー ミル ヨー ミル	コラレル ケッコー クル ヨー クル	《デキル》 ケッコー スル ヨー スル	死ぬ シナレル 死ぬ シナレン 死ぬ ヨー シナン	
		可能否定	カカレン △カケン ヨー カカン	ミラレン ヨー ミン	コラレン ヨー コン	《デキン》 ヨー セン		
35	山口県東周防方言	可能肯定	カケル	ミレル ミラレル	コレル コラレル	《デキル》 《ヤレル》	死ぬ シネル 死ぬ シネン	
		可能否定	カケン ヨー カカン	ミレン ミラレン ヨー ミン	コレン コラレン ヨー コン	《デキン》 《ヤレン》 ヨー セン	死ぬ ヨー シナン	
37	香川県高松市方言	可能	ヨー カク カケル	ヨー ミル ミラレル	ヨー クル コラレル	ヨー セル 《デキル》 《デケル》		
38-1	愛媛県松山市方言	可能肯定	カケル	ミレル ミラレル	コレル コラレル	《デキル》	死ぬ シネル 死ぬ シネン	
		可能否定	カケン ヨー カカン イエー カカン	ミレン ヨー ミン イエー ミン	コレン ヨー コン イエー コン	《デキン》 ヨー セン イエー セン	死ぬ ヨー シナン 死ぬ イエー シナン	
38-2	愛媛県大洲方言	可能	カケル ヨー カク	ミレル ミラレル ヨー ミル	コレル コラレル ヨー クル	《デキル》 ヨー スル	いぬ イネル いぬ ヨー イヌル	
39	高知県宿毛市方言	可能	カケル カケレル	ミレル ミラレル	コレル コラレル	《デキル》 セレル	死ぬ シネル 死ぬ シネレル	
40-1	福岡県福岡市方言	可能	カキキー カカルー	ミキー ミラルー	キキー コラルー	シキー サルー		
40-2	福岡県柳川市方言	可能	カカルル カキキル	ミラルル ミキル	コラルル キキル	サルル シキル		食べる タベラルル 食べる タベキル
41	佐賀県武雄市北方方言	可能	カキユツ	ミユツ	キーユツ	シーユツ		開める シメユツ

42-1	長崎県雲仙市南串山町鬼池方言	可能	カカレル カケレル カキエル カカユル カキユル カキキル	ミラルル ミエル ミユル ミーキル	キーエル キーユル キーキル	サレル サルル シキル		投げる ナゲラルル 投げる ナゲレル 投げる ナゲエル 投げる ナゲユル 投げる ナゲキル
42-2	長崎県佐世保市宇久町方言	可能	カカユル カカルル カキキル	ミラユル ミラルル ミキル	キヤユル コラルル キキル	サユル サルル シキル		開ける アケヤユル 開ける アケラルル 開ける アケキル
44-1	大分県由布市庄内町方言	可能	カッキル カカルル カケル	ミキル ミラルル ミレル ミルル	キキル コラルル コレル	シキル サルル	死ぬ シニキル 死ぬ シナルル 死ぬ シネルル	開ける アケキル 開ける アケラルル 開ける アケレル 開ける アケルル 起きる オケキル 起きる オケルル 起きる オケラルル
44-2	大分県日田市天瀬町方言	可能	カッキル カカルル カケルル	ミキル ミラルル ミレルル	キキル コラルル コレルル	シキラン サルル セレルル	死ぬ シニキル 死ぬ シナルル 死ぬ シネルル	開ける アケキル 開ける アケラルル 開ける アケルル 起きる オケキル 起きる オケラルル 起きる オケルル
46-1	鹿児島県鹿児島市方言	可能	カッガナツ カカルツ	ミガナツ ミラルツ	キガナツ コラルツ	シガナツ サルツ		受ける ウケガナツ 受ける ウケラルツ
46-2	鹿児島県龍郷島方言	可能	カキキー カキガナイ カカルイ カキダス カクイ	ミキー ミーガナイ ミラルイ ミダス	キガナイ コラルイ キダス	シキー シガナイ サルイ シダス		止める ヤメキー 止める ヤメガナイ 止める ヤメラルイ 止める ヤメダス

番号	要地方言	a類 持つ	b類 見る	来る	する			
47-1	沖縄県那覇市首里方言	ムチユースン ムタリーン	ン(-)ジユースン ン(-)ダリーン	チーユースン クーラーン	シーユースン			
		<b>a1類 書く</b>	<b>a1類 読む</b>	<b>a1類 笑う</b>	<b>a1類 言う</b>	<b>a2類 居る</b>	<b>a3類 死ぬ</b>	
47-2	沖縄県宮古島市 平良下里方言	カカイウ カキウーシウ	ユマイウ コムウーシウ	ハライイウ 《ナイウ》	アイウザイウ △アイウウーシウ	ウライウ ウイウウーシウ	シウナイウ シウンウーシウ	
		<b>b類 見る</b>	<b>来る</b>	<b>する</b>				
		ミーライウ △ミーウウーシウ	クーライウ △キウウーシウ	《ナイウ》				
		<b>三段型 (1-i) 書く</b>	<b>三段型 (1-ii) 乗る・登る</b>	<b>三段型 (1-iii) 形容詞の動詞化接辞</b>	<b>三段型 (2) 出す</b>	<b>三段型 (3-i) 買う</b>	<b>三段型 (3-ii) 思う</b>	<b>三段型 (4-i) 読む</b>
47-3	沖縄県宮古島市 久松方言	カカレーツ	ヌーラレーツ	(該当形 欠)	イダサレーツ	カーレーツ	ウマーレーツ	ユマレーツ
		<b>三段型 (4-ii) 眠る</b>	<b>三段型 (4-iii) 切る</b>	<b>一段型 (1) 探す</b>	<b>一段型 (2) 「来る」の敬語※</b>	<b>一段型 (2) 「する」の敬語、尊敬接辞</b>	<b>不規則 (r/ii) いる</b>	<b>不規則 (r/SP) ある</b>
		ニヴヴァレーツ	キツツァレーツ	トゥミラレーツ	ンメーラレーツ	(サ)マラレーツ	ウラレーツ	(該当形 欠)
		<b>不規則 (ff/r) 降る</b>	<b>不規則 (r/ss) 知る・知っている</b>	<b>不規則 (n/i) 死ぬ</b>	<b>不規則 (z/SP) 来る</b>	<b>不規則 (ii/ss/SP) する</b>		
		(該当形 欠)	ツサーレーツ/ ツシューラレーツ	スナレーツ	クーラレーツ	シーラレーツ		
		<b>多段一般型 書く</b>	<b>多段一般型 待つ</b>	<b>多段一般型 干す</b>	<b>多段一般型 取る</b>	<b>多段一般型 食う</b>	<b>多段特殊型 居る</b>	
47-4	沖縄県多良間島方言	カカイリ*	マタイリ*	プチャイリ*	トゥライリ*	ファーイリ*	ブライリ*	
		<b>一段一般型 見る</b>	<b>一段特殊型 死ぬ</b>	<b>来る</b>	<b>する</b>			
		ミーライリ* 《ミーリ》	スニライリ*	クライリ*	シライリ* 《ディキリ》			
		<b>多段一般型 書く</b>	<b>多段r語幹型 踊る</b>	<b>多段特殊型 いる</b>	<b>二段型 出る</b>	<b>来る</b>	<b>する</b>	
47-5	沖縄県竹富町黒島方言	ハカリル ハキッセン	ブドゥラリル ブドゥリッセン	ブラリル (未確認)	ンジラリル ンジッセン	キーラリル (未確認)	シラリル シーッセン	
		<b>三段一般型 書く</b>	<b>三段特殊型 洗う</b>	<b>一段型 開ける</b>	<b>不規則型 来る</b>	<b>不規則型 思う</b>	<b>不規則型 叱る</b>	
47-6	沖縄県与那国方言	カガリルン カティツン	アラリルン アライツン	アギリルン アギツン	クラリルン シーツン	ウマリルン ウムイツン	イヤリルン イーツン	

## 【解説抜粋】

『全国方言文法辞典資料集(2)～(5)・(7)～(9)』掲載の「要地方言の活用体系記述」の動詞の〈可能形〉の記述を抽出し、用語等の統一をはかって再編集した。用例の出典については、元原稿を参照のこと。なお、以下の方言については、執筆担当者による改稿（情報追加）が行われている。

- 05 秋田県由利本荘市本荘方言（日高水穂）
- 38-2 愛媛県大洲方言（宮岡大）
- 47-1 沖縄県那覇市首里方言（仲原穰）
- 47-5 沖縄県竹富町黒島方言（原田走一郎）

## 01 北海道北見市常呂町岐阜方言

〈可能（肯定・否定）形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

可能肯定形は、多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞は基幹（＝語幹）に「レル」が、「来る」は「コ」に「ラレル」「レル」が付く。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

- ・ココワ アカイルノデ ジガ チャントカケル。(ここは明るいので、字がちゃんと書ける) [状況・肯定]
- ・ハナコワ チーサイガ シッカリ シトルデ ヒトリデ エーガガ ミレル。(花子は小さいが、しっかりしているので、一人で映画が見られる。) [能力・肯定]
- ・エキカラ チカイノデ アルイテ {コラレル/コレル。} (駅から近いので、歩いて来られる。) [状況・肯定]
- ・タローワ メンキョオ モツテイルノデ ヒトリデ コノ シゴトガ デキル。(太郎は免許を持っているので、一人でこの仕事ができる。) [能力・肯定]

可能否定形は、多段型動詞は基幹エ段形に「ン」が、一段型動詞は基幹（＝語幹）に「レン」が、「来る」は「コ」に「ラレン」「レン」が付く。「する」は代替動詞「デキル」の否定形「デキン」を用いる。いずれの場合においても、「ヨー カケン」など副詞「ヨー」と否定形で作られる。これらの他には、一般否定形（「カカン」「ミン」「コン」「セン」）が、副詞「ヨー」とともに用いられる。

- ・ココワ クライノデ ジガ チャント {ヨニ カケン/ヨニ カカン。} (ここは暗い

ので、字がちゃんと書けない) [状況・否定]

- ・ハナコワ マダ チイサイノデ ヒトリデ エイガガ {ヨー ミレン/ヨー ミン。} (花子はまだ小さいので一人で映画が見られない。) [能力・否定]
  - ・エキカラ トーイノデ アルイテワ {ヨコラレン/ヨー コレン/ヨー コン。} (駅から遠いので、歩いては来られない。) [状況・否定]
  - ・タローワ メンキョガ ナイノデ ヒトリデ コノ シゴトガ {ヨー デキン/ヨニ セン。} (太郎は免許がないので、一人でこの仕事ができない。) [能力・否定]
- (朝日祥之)

## 02 青森県五所川原市方言

〈可能(肯定・否定)形〉

能力可能、状況可能の可能の意味を明確に区別する形式はない(後述)。

可能肯定形は、2つの形式がある。

一つ目は、多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞は基幹（＝語幹）に「レル」が、「来る」は「コ」に「レル」が付くという形式である。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

二つ目は、助詞「ニ」が付され、さらに形容詞「イー」が後接するものであり、これは動詞の断定(連体)非過去形(多段型動詞の基幹ウ段形、一段型動詞の基幹に「ル」が付いた形、「来る」「する」の基幹ウ段形に「ル」が付いた形)に付く。基幹ウ段形の末尾がルで終わる動詞ではルが消失することもある。また、「ニイー」自体は過去形「ニイクテアッタ(ニイガッタ)」、仮定形「ニイーバ」などの活用を持つが、否定形「ニイグネ」は存在

しない。

可能否定形も、2つの形式が存在する。

一つ目は、可能肯定形の一つ目の形式が否定形となったもので、多段型動詞は基幹エ段形に「ネ」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に「レネ」が、「来る」は基幹オ段形に「レネ」が付くという形式である。こちらも「する」は代替動詞「デキル」の否定形「デギネ」を用いる。

二つ目は受身形と同形のもので否定形となったもので、多段型動詞は基幹ア段形に「イネ」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に「ライネ」が、「来る」は基幹オ段形に「ライネ」が、「する」は基幹ア段形に「イネ」が付く。可能否定形はすべて形容詞に準じた活用をする。

青森県方言一般に、伝統的には能力可能と状況可能の別があると見られているが、当地では明確に使い分けられてはいない。ただ、否定においては前者の形(カゲネ、ミレネなど)が能力不可能に、後者の形(カガイネ、ミライネなど)が状況不可能に使われやすいようである。

- ・ヨグ ソー ネニイシテスツア (よくそんなに寝ることができるね) [市史]
- ・テコ カンケ° エデマテ、ポタン カゲラエネ (手がかじかんでしまって、ボタンが掛けられない) [方言集]
- ・ウエルダッキャ ナモウエレネ (子供たちが苗を) 植えるのは全然植えることができない) [市史]

(田附敏尚)

### 03 岩手県盛岡市方言

#### 〈可能(肯定・否定)形〉

能力可能と状況可能で形式の区別がある。

		能力可能	状況可能
書く	肯定	カケル	カクニイー
	否定	カケネア	カカレネア カカサラネア
見る	肯定	ミレル	ミルニイー
	否定	ミレネア	ミラレネア ミラサラネア

能力可能肯定形は、多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に、「来る」は「コ」に、「する」は「サ」に「レル」が付く。

これらは一段型動詞に準じた活用をする。

- ・漢字知ってだから、俺あ書げる。(漢字を知っているから、俺は書ける。)
- ・どごどおり、そんな話あ、本気にされるが。(どこまで本気が分からない、そんな話は、本気にできるか。)(中谷 a・「どごどおり」)

能力可能否定形は、能力可能肯定形が否定形になった形で、多段型動詞は基幹エ段形に「ネア」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に、「来る」は「コ」に、「する」は「シェ」に「ネア」が付く。

- ・くずすて書かれるづど、俺あ読めねえ。(くずすて書かれるというと、俺は読めない。)(中谷 a・「くずす」)

状況可能肯定形は、動詞の断定(連体)非過去形(多段型動詞の基幹ウ段形、一段型動詞の基幹に「ル」が付いた形、「来る」「する」の基幹ウ段形に「ル」が付いた形)に「ニイー」が付く。「イー」は形容詞「良い」に由来するが、この可能形が「~ニイグネア」のように否定形になることはない。

- ・ごごは明るいから本読むにいい。(ここは明るいから本を読むことができる。)
- ・この着物はまだ着るにいい／着るにええ。(佐藤・「ニイー」)

状況可能否定形は2つあり、1つは受身形の否定形と同形で、多段型動詞は基幹ア段形に「レネア」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に「ラレネア」が、「来る」は「コ」に「ラレネア」が、「する」は「サ」に「レネア」が付く。

- ・孫あ、はすかで寝でらながら、遊ばれねえよ。(孫は、麻疹で寝ているから、遊ぶことはできないよ。)(中谷 a・「はすか」)
- ・このお菓子は紋がへえってえるばるでかえっておいそれとかれねえな。(このお菓子は家紋がはいっているばかりにかえって簡単には食えないな。)(松本 a・「南部賞」)
- ・父は歩きながら、「(混んでいて) 渡されなかつたナ」とつぶやいた。(松本 a・「別れ」)
- ・そんなバフツとすた話であ、来られねえよ。(そんないいかげんな話では、来られないよ。)(中谷 b・「バフツと」)

状況可能否定形の2つ目は自発形の否定形と同形で、多段型動詞は基幹ア段形に「サラネア」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に「ラサラネア」が、「来る」は「コ」に「ラサラネア」が、「する」は「サ」に「サラネア」が付く。

- ・このボールペンあインク出ねくて書がさらね。(このボールペンはインクが出なくて書けない。)
- ・橋あねあがらあつつがらこらさらね。(橋がないからあちらから来られない。)

(竹田晃子)

#### 04 宮城県仙台市方言

〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

多段型動詞は基幹ア段形に「レル」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に、「来る」は「コ」に、「する」は「ス」に「ラレル」が付く(受身形と同形)。多段型動詞については、基幹エ段形に「ル」が付く形もある。これらは一段型動詞に準じた活用をする。

- ・つるり、つるりって、ころんだりばりして歩がんねぐなつたんだって。(つるり、つるりと、ころんだりばかりして歩けなくなつたんだって。)[民話：雉子と猿]
- ・はあ一、今度あ狸の野郎の茅背負つてだの、降ろすに降ろさんね。(は一、今度は狸の野郎が茅を背負っていたのを、降ろすに降ろせない。)[民話：かちかち山]
- ・とつても返事すらんねがった。(とても返事できなかつた。)[民話：狐と川獺]

また、動詞の断定(連体)非過去形(多段型動詞の基幹ウ段形、一段型動詞の基幹に「ル」が付いた形、「来る」「する」の基幹ウ段形に「ル」が付いた形)に、助詞「に」と形容詞「良い」とからなる「ニエー」を付ける形もある。これは形容詞に準じた活用をする。ただし、否定形になることはまずない。動詞の末尾がルの場合、「ミンニエー」などのようにルが撥音化することがある。

- ・おれはまだまだ、あるぐにいいがら。(おれはまだまだ、歩けるよ。)[民話：花咲か爺]
- ・フグ キルニイグナツタ。(服が着られるよ

うになつた。)

能力可能と状況可能で形式の区別はない。

なお、受身形と同形の可能形は自発の意味で使われることもある。ただし、「アズダス」(案じ出す。「思い出す」の意)、「アンズル」(案ずる)といった思考動詞に付いて、意図しないのにある種の気持ちが起る、というような意味を表す場合にのみ使われる。

- ・ズスンノ ドギノ ゴド アズダサレル。(地震のときのことが思い出される。)
- ・ビョーヌンノ ゴド アンズラレル。(病人の事が案じられる。)[仙台方言]

(武田拓)

#### 05 秋田県由利本荘市本荘方言

〈可能(肯定・否定)形〉

能力可能と状況可能で形式の区別がある。

		能力可能	状況可能
書く	肯定	カケル	カク(ニ) エー
	否定	カケネア	カカエネア
見る	肯定	ミレル	ミル(ニ) エー
	否定	ミレネア	ミラエネア

能力可能肯定形は、多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に「レル」が、「来る」は「コ」に「レル」が、「する」は「シエ」に「ル」が付く。これらは一段型動詞に準じた活用をする。

能力可能否定形は、能力可能肯定形が否定形になった形で、多段型動詞は基幹エ段形に「ネア」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に「レネア」が、「来る」は「コ」に「レネア」が、「する」は「シエ」に「ネア」が付く。

状況可能肯定形は、動詞の断定(連体)非過去形(多段型動詞の基幹ウ段形、一段型動詞の基幹に「ル」が付いた形、「来る」「する」の基幹ウ段形に「ル」が付いた形)に「ニエー」が付く。「エー」は形容詞「良い」に由来するが、この可能形が「~ニエグネア」のように否定形になることはない。「ニ」は省略される場合もある。

- ・あした{くるにえ/くるえ}が。(明日来られるか。)
- ・味噌で味付けしておけば すぐ食べるにえくて えおな。(味噌で味付けをしておくと、

すぐに食べることができていいよね。) (本  
庄 a・「はる」)

状況可能否定形は、受身形の否定形と同形で、  
多段型動詞は基幹ア段形に「エネア」が、一段型  
動詞は基幹(=語幹)に「ラエネア」が、「来る」  
は「コ」に「ラエネア」が、「する」は「サ」に「エ  
ネア」が付く。

- ・[猿が雉のところに米をよこせと言ってやっ  
て来て] 雉「んた。やらえね。」(いやだ。  
やれない。)(秋田・「さる一ぱ きじ一ぱ」)
- ・あまりさびくて 窓しみて あげらえねあ  
がった。(あまりにも寒くて窓が凍って開け  
られなかった。)(本庄・由利「あげる」  
(日高水穂))

## 06 山形県山形市方言

### 〈可能(肯定・否定)形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別す  
る形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

可能肯定形は、動詞の断定(連体)非過去形(多  
段型動詞の基幹ウ段形、一段型動詞の基幹に「ル」  
が付いた形、「来る」「する」の基幹ウ段形に「ル」  
が付いた形)に「イ」が付く。「イ」は形容詞「良  
い」に由来するが、この形が「～イグネ」のよう  
に否定形になることはない。過去形は「カグイガ  
ッタ/カグイッケ」「ミルイガッタ/ミルイッケ」  
「クルイガッタ/クルイッケ」「スルイガッタ/ス  
ルイッケ」、推量形は「カグイベ」「ミルイベ」「ク  
ルイベ」「スルイベ」となる。

- ・コノ ペンワ スラスラ カグイ。(このペ  
ンはすらすら書ける。)
- ・コリヤ イッパイ ノムイナ。(これはたく  
さん飲めるな。)
- ・キョーワ ユックリ テレビバ ミルイ。  
(今日はゆっくりテレビを見られる。)
- ・アシタ オラエサ クルイガ。(明日私の家  
に来られるか。)
- ・ソージ オワッタガラ ヤット ユックリ  
ベンキョー スルイ。(掃除が終わったから、  
やっとゆっくり勉強できる。)
- ・狐・狸のたぐいは、ただ手づかみするいそ  
うだ。(狐や狸の類は、簡単に手づかみで[獲  
物を]獲ることができるそうだ。)(武田 5・

「194 ホラ吹き」上市市)

- ・おらだ、琵琶ひいたり、笙を習ったり、鼓  
鳴らすから、お前合わせるいが。(私たちは  
琵琶を弾いたり、笙を習ったり、鼓を鳴ら  
したりするから、お前はそれに合わせられ  
るか。)(羽前・「鉢かぶり姫」上市市)

可能否定形は、受身形の否定形と同形で、多段  
型動詞は基幹ア段形に「レネ」が、一段型動詞は  
基幹(=語幹)に「ラレネ」が、「来る」は「コ」  
または「ク」に「ラレネ」が、「する」は「サ」に  
「レネ」が付く。「ラレネ」「レネ」は「レ」が撥  
音化して「ランネ」「ンネ」となる場合もある。

- ・カワエくて行かれない。(恥ずかしくて行け  
ない。)(辞典・「カワエ」)
- ・コツダイ イダクテワ、コノ ニモズ モ  
ダンネ。(こんなに痛くては、この荷物は持  
てない。)(竹田 2012)
- ・[頭から鉢が] どうしても取んねんだ。(ど  
うしても取れないのだ。)(羽前・「鉢かぶり  
姫」上市市)
- ・モノゴクテカンネ。(味がしつこくて食われ  
ない。)(辞典・「モノゴエ」)
- ・アンマリ モツコクテ サイゴマデ ミラ  
ンネ。(あまりにかわいそうで最後まで見ら  
れない。)
- ・「たった三粒しかないから、けらんねっす」  
て言うたずま。(「たった三粒しかないから、  
あげられない」と言ったものだ。)(羽前・「雀  
と猿」上市市)
- ・コゴワ コージチューダガラ アッチカラ  
ワ {クランネ/コランネ}。(ここは工事  
中だからあちからは来られない。)
- ・「ああ、死ぬこともさんね」て、しくしく泣  
いっだんだど。(「ああ、死ぬこともできな  
い」と、シクシク泣いていたのだそうだ。)

(羽前・「鉢かつぎ姫」上市市)  
(竹田晃子・澤村美幸)

## 07 福島県福島市方言

### 〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別す  
る形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

多段型動詞は基幹ア段形に「レル」が、一段型

動詞は基幹 (= 語幹) に「ラレル」が、「来る」は「コ」に、「する」は「シ」に「ラレル」が付く。これらは一段型動詞に準じた活用をする。

多段型動詞の基幹エ段形に「ル」を後接する「カゲル」なども使用される。

可能否定形では、〈否定形〉に示した規則によって、レ音が撥音化するとともに後接する「ネー」が口蓋化する。

- ・イカ<sup>°</sup> ンニヨーニ ナッチャッタノ。(行けないようになってしまったの。)[幡 2005]
- ・ネーガラ アケ ランニガッタ。(ないから上げられなかった。)[幡 2005]
- ・イマワ ミランニベシタ。(今は見るができないじゃないか。)[幡 2005]
- ・ひとつもとんにやぐなっちゃった。(少しも取れなくなってしまった。)[福島大 2015]  
(半沢康)

## 08 茨城県水海道方言

### 〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

多段型動詞は基幹ア段形に「レル」が、一段型動詞は基幹 (= 語幹) に「ラレル」が、「来る」は「キ」に「ラレル」が付く。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

- ・入 (へえ) つちや越せめえか (入ったら越せないだろうか。)[土]
- ・迎 (とつて) も助かれめえ (とても助からないだろう。)[土]
- ・忘らんねえもんだかんな (忘れられないものだからな。)[土]
- ・来 (き) らんめえつて云つたあ (来られないだろうって言った。)[土]
- ・俺 (おら) がにやさういにや出来ねえんだもの (俺にはそういうふうにはできないんだもの。)[土]

(佐々木冠)

## 10 群馬県藤岡市方言

### 〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞は基幹 (= 語幹) に「レル」が、「来る」は「コ」に「レル」が付く。一段型動詞は基幹 (= 語幹) に、「来る」は「コ」または「キ」に「ラレル」が付く形もある。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

- ・コノ ショルイオ アシタマデニ カケルカイ。(この書類を明日までに書くことができるか。)
- ・メガネナシデモ シンブンノ ジガ ミラレルカイ。(眼鏡無しでも新聞の字が見られるか。)
- ・アタシワ ミレルヨ。(私は見られるよ。)
- ・アタシワ コレルケド オトーサンワ ダメダト オモーヨ。(私は来られるけれど、お父さんは無理だと思うよ。)
- ・アシタワ キラレルカイ。(明日は来られるか。)

(新井小枝子)

## 12 千葉県南房総市三芳方言

### 〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞は基幹 (= 語幹) に、「来る」は「コ」に、「する」は「シ」に「ラレル」が付く。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

- ・知らねやーよそん者は、吹い出さずにいられなーつたちゅうこつだあ。(知らないよその者は、吹き出さずにいられなかったということだ。)[増間]
- ・てんで立てなーなちやつたあだ。(全く立てなくなってしまった)[増間]

(佐々木冠)

### 13-1 東京都方言

#### 〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

①多段型動詞の基幹ア段形に「レル」が、一段型動詞の基幹 (= 語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「ラレル」が付く形と、②多段型動詞の基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞の基幹 (= 語幹)、「来

る」の基幹オ段形「コ」に「レル」が付く形がある。①は受身形と同形。①②とも一段型動詞に準じた活用をする。多段型動詞では②が一般的であり、①は「行く」など一部の動詞に限って主として高年層で用いられることがある。一段型動詞と「来る」では高年層では①が主流であるが、中若年層では日常的には②も多く用いられる。特に短い動詞では②が優勢。この、一段型動詞と「来る」の②は「ら抜きことば」と呼ばれる。一段型動詞と「来る」では、②に比して①の方が規範的と意識されているが、若年層ではその意識も薄くなりつつある。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

- ・待避壕だよ、あの、このくらいで、こう階段造って、こう1人が入れるぐらいのね、1人か2人が入れるね、造ったの。(田中)
- ・学校(がっこ) 行かれない、ほんとに。(生活・「日本橋の魚河岸」)
- ・朝早く起きられないわけですよ。(LAT・「商売の話」)
- ・この前さ、新小岩まで来れたじゃん。(RP)

【若年層】

(三井はるみ)

### 13-2 東京都八丈島三根方言

#### 〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力可能専用の可能形がある。

汎用の可能形には、「カケロワ」「ミレロワ」「コレロワ/クレロワ」「サレロワ」のように、多段型動詞は基幹エ段形に「ロワ」が、一段型動詞は基幹(=基幹)に、「来る」は「コ」または「ク」に、「する」は「サ」に「レロワ」が付く形がある。また、併用形として、「カカレロワ」「ミラレロワ」「コラレロワ」のように、多段型動詞は基幹ア段形に「レロワ」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に、「来る」は「コ」に「ラレロワ」が付く形もある。なお、「する」はこれに相当する語形が見つからなかった。また、「する」の場合は「サレロワ」より、後述する能力可能を示す「ショウホーダラ」を使用することが多い。

- ・コノ コワ マダ ネッコケンガ エズケカンジョ カケロワ。(この子はまだ小さいけれども、難しい漢字が書ける。)

- ・トンメテイニ オキレバ ヒノデガ ミレロワ。(早朝に起きれば日の出が見られる。)

- ・ワレンモ サレロワ。(私にもできるよ。)

なお、カコーホウダラ(実際の発音ではホーダラと発音されることも多い)という表現形式もあるが、能力可能の意味に限られる。

- ・ウノ シトワ エズケ カンジョー カコーホーダラ。(あの人は難しい漢字を書くことができる。)

- ・ソノ イェーガワ イエキメーノ イェーガカンデ ミレロワ(×ミロホーダラ)。(その映画は駅前の映画館で見られるよ。)

(三樹陽介)

### 14 神奈川県大和市方言

#### 〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に、「来る」は「コ」に「レル」が付く。一段型動詞の基幹(=語幹)と「来る」の基幹オ段形「コ」に「ラレル」が付く形もあるが、多く「レル」の形が用いられる。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

- ・テキトーニ オケル トコロニ オイテ(方言1)

- ・タノコトー マーシテオカナキャ デキナイ(他のことを回しておかないとできない)(方言1)

(坂本薫)

### 15-1 新潟県新潟市方言

#### 〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

可能肯定形の場合、①多段型動詞の基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「レル」が付く形と、②多段型動詞の基幹ア段形に「レル」が、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「ラレル」が付く形(受身形と同形)がある。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

- ・ムズカシー ジガ {カケル/カカレル}。  
(難しい字が書ける。)
- ・アッタカイノデ ソトニ {イレル/イラレル}。(暖かいので外にいられる。)
- ・ソノ エーガワ エキマエノ エーガカンデ {ミレル/ミラレル}。(その映画は駅前の映画館で見られる。)
- ・ハナコワ チーセケドモ アサ ヒトリデ {オキレル/オキラレル}。(花子は小さいけれども、朝一人で起きられる。)
- ・ハナコワ ミチオ シッテルカラ ヒトリデ {コレル/コラレル}。(花子は道を知っているから、一人で来られる。)
- ・メンキョガ アルノデ シゴトガ デキル。  
(免許があるので仕事ができる。)

可能否定形の場合、①多段型動詞の基幹エ段形に「ネ(一)」、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「レネ(一)」が付く形と、②多段型動詞の基幹ア段形に「レネ(一)」、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「ラレネ(一)」が付く形(受身形の否定形と同形)がある。②の形の「ネ」の前の「レ」が撥音化する形もある。

- ・コノ コワ チーセ {カラ/スケ} ムズカシー ジガ {カケネ(一)/カカンネ(一)}。(この子は小さいから、難しい字が書けない。)
- ・コドモノ コトオ オモウト シンバイデ サキニワ {シネネ/シナレネ/シナンネ}。  
(子供のことを思うと、心配で先には死ねない。)
- ・ハナコワ チーセ {カラ/スケ} エーガオ ヒトリデワ {ミレネ/ミラレネ/ミランネ}。(花子は小さいから映画を一人では見られない。)
- ・アサ オキレネデ チコクシタ。(朝起きられなくて、遅刻した。)
- ・エキカラ トーイ {カラ/スケ} ヒトリデ {コレネ/コラレネ/コランネ}。(駅から遠いから、一人で来られない。)

(三樹枝里)

15-2 新潟県魚沼市方言

〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

可能形を肯定形・否定形に分けて記す。臨地調査で得た形のほか GAJ から補った形がある。

全てで、一段型動詞に準じた活用をする。

	肯定形	否定形
多段型 「書く」	①エ段+ル 「カケル」 ②ア段+レル 「カカレル」	左①の否定形 「カケネー」 左②の否定形 「カカンネー」
一段型 「見る」	①基幹+レル 「ミレル」 ②基幹+ラレル 「ミラレル」	左①の否定形 「ミレネー」 左②の否定形 「ミランネー」
「来る」	①オ段+レル 「コレル」 ②オ段+ラレル 「コラレル」	左①の否定形 「コレネー」 左②の否定形 「コランネー」
「する」	デキル	デキネー

表中、肯定形①の語に、終助詞「ワ」が付きそれが融合した「ラー」になる形(ru+wa→raa)である「カケラー」などが表れる。「来る」では②「コラレル」も「コラレラー」が表れる。

「する」の可能形は代替動詞「デキル」とその否定形「デキネー」を用いる。

- ・コノ コワ マダ チーサイドモ カンジガ カケル。(この子はまだ小さいけれども、漢字が書ける。)
- ・コノ コワ マダ チーサイカラ カンジガ {カケネー/カカンネー}。(この子はまだ小さいので、漢字が書けない。)
- ・ココワ アカルインダンガ ジガ チャント {カケル/カケラー}。(ここは明るいので、字がちゃんと{書ける/書けるよ}。)
- ・ココワ クラインダンガ ジガ チャント {カケネー/カカンネー}。(ここは暗いので、字がちゃんと書けない。)
- ・コノ {ホーホーダバ/ホーホーナラ} ラクニ シネル。(この方法なら楽に死ぬる。)
- ・ドッケン ホーホーデモ ラクニヤー シネネー。(どんな方法でも楽には死ねない。)

- ・コドモノ コトオ オモート シンパイデ  
サキニワ シネネー。(子供のことを思うと、  
心配で先には死ねない。)
- ・ハー コドモモ イッチョメーニ ナツタ  
ンダンガ オラ アンシンシテ {シネル  
/シネラー}。(もう子供も自立したから、  
私は安心して {死ねる/死ねるよ}。)
- ・タローワ イッチョメーダンダンガ ナガ  
イ アイダ ヒトリデ {イラレル/イラ  
レルロー}。(太郎はしっかりしているので、  
長い間一人で {いられる/いられるだろ  
う}。)
- ・タローワ チーサインダンガ ソッケ ナ  
ガイ アイダ ヒトリデ {イランネー/  
イランネーロー}。(太郎は小さいので、そ  
んな長い間一人で {いられない/いられな  
いだろう}。)
- ・ココワ サブスギテ イツブンモ イラン  
ネー。(ここは寒すぎて、一分もいられない。)
- ・イマノ ジキワ アッタカインダンガ ズ  
ット ソトニ {イラレル/イラレラー}。  
(今の時期は暖かくて、ずっと外に {いら  
れる/いられるよ}。)
- ・ソノ エーガワ エキマエノ エーガカン  
デ {ミレル/ミラレル}。(その映画は駅  
前の映画館で見られる。)
- ・ソノ エーガワ コノ アタリノ エーガ  
カンジャー {ミレナイ/ミレネー}。(そ  
の映画はこの辺の映画館では見られない。)
- ・ハナコワ チーサイドモ シッカリシテル  
ンダンガ ヒトリデ エーガオ {ミレル  
/ミレラー}。(花子は小さいがしっかりし  
ているので、一人で映画を {見られる/見  
られるよ}。)
- ・ハナコワ チーサインダンガ ヒトリデ  
エーガオ ミレネー。(花子は小さいので、  
一人で映画を見られない。)
- ・ハナコワ ミチオ シツテルンダンガ ヒ  
トリデ {コラレル/コラレラー/コレル/  
コレラー}。(花子は道を知っているので、  
一人で {来られる/来られるよ}。)
- ・ハナコワ ミチオ シラネンダンガ ヒト  
リジャー コランネー。(花子は道を知らな  
いので、一人では来られない。)
- ・エキカラ チカインダンガ アルイテモ  
{コラレル/コラレラー/コレル/コレラ  
ー}。(駅から近いので、歩いても {来られ  
る/来られるよ}。)
- ・エキカラ トーインダンガ アルイチャ  
コランネー。(駅から遠いので、歩いては来  
られない。)
- ・タローワ メンキョオ モツテルンダンガ  
ヒトック コノ シゴトガ {デキル/デ  
キラー}。(太郎は免許を持っているので、  
一人でこの仕事が {できる/できるよ}。)
- ・タローワ メンキョオ モツテネンダン  
ガ ヒトックデ コノ シゴトガ デキネ  
二。(太郎は免許を持っていないので、一人  
でこの仕事ができない。)
- ・キカイガ ブッコーレテルンダンガ キョ  
ーワ シゴトガ デキネー。(機械が壊れて  
いるので、今日は仕事ができない。)
- ・キカイガ ナオツタンダンガ キョーワ  
シゴトガ デキル。(機械が直ったので、今  
日は仕事ができる。)
- ・お前のような、きったねえばさに、何がで  
きる。(お前のような、汚い婆に、何ができ  
る。)[昔話：おっぱの皮]

(吉田雅子)

## 16 富山県富山市方言

### 〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形、  
状況可能に使用が偏る可能形、能力可能専用の可  
能形がある。

①多段型動詞の基幹エ段形に「ル」が、一段型  
動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」  
に「レル」が付く形、②多段型動詞の基幹ア段形  
に「レル」が、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来  
る」の基幹オ段形「コ」に「ラレル」が付く形、  
③多段型動詞の基幹エ段形に「エル」が、一段型  
動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」  
に「ラエル」が付く形がある。①②③とも一段型  
動詞に準じた活用をする。①は、能力可能・状況  
可能のどちらにも用いられる。②も能力可能・状

況可能のどちらにも用いるが、状況可能での使用に偏る。また、②の否定形は「～してはいけない」にあたる禁止表現として使われる。③は、能力可能でしか用いられず、否定形での使用に偏る。「する」は主に代替動詞「デキル」が用いられるが、②にあたる「シラレル」形もある。

- ・あんた、一人で服 {着れる／着られる／着れえる} け。(あなた、一人で服を着られる?)
- ・そいところで泳がれん。(そんな所で泳いではいけない。)
- ・製板どもならそういうでかいとちや続けえんもんやちゃ。(製板などならそんなにたくさんは続けられないものだよ。)(北前・「能登通いの材木船に乗って」)

(小西いずみ)

## 17 石川県能登島方言

〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

①多段型動詞の基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞の基幹(＝語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「レル」が付く形と、②多段型動詞の基幹ア段形に「レル」が、一段型動詞の基幹(＝語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「ラレル」が付く形がある。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

- ・コンダー オレ オシエテモロテ トンニ イッテクルワイヤ。コンド アンタ トラレンガニ ナッター。(今度は私が教えてもらって(ミョウガを)取りに行ってくるよ。今度あなたがとれなくなったら。)
- ・コノコワ ヨーチエンヤサケ ジー {カカレン／カケン}。(この子は幼稚園児だから字が書けない。)
- ・アンタ ガッコー イットルサカイ ジー カカレルモンネ。(あなたは学校に行っているから字が書けるもんね。)
- ・ほのかたがね、とつてもちんちやい方でね、お風呂なんかでも、昔こんな木の風呂やったけど、またんで入られんほど小さいがやて。(その方がね、とつても小さい方でね、お風呂なんかでも、昔はこんな木の風呂だ

ったけど、またいで入れないほど小さいんだって。)(町史・「閨の妙蓮さん」)

(野間純平)

## 18-1 福井県大野市方言

〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞は基幹(＝語幹)に、「来る」は「コ」に「レル」が付く。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

否定形の場合は多段型動詞の基幹ア段形に「レン」、一段型動詞の基幹(＝語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「ラレン」が付く形も用いられる。

- ・ヒトリデ コレル。(一人で来られる。)
- ・ヒトリデ {コレン／コラレン}。(一人で来られない。)
- ・[前略] テァ コジケテ フデ モテン。(手がかじかんで筆が持てない。)[市史(小矢戸)]
- ・ジョーズバッカ ユーテテモ ヨノナカ ワタラレン。(愛想の良いことばかりいっていても世の中は過ごしていられない。)[市史(犬山)]
- ・マダコレ タベレルワネ。モツタイナイ。(まだこれ、食べられますよ。＜捨てようとするなんて＞もったいない。)[市史(高砂町)]
- ・イトヒクヨーンナッターデ モー タベラレン ワノ。(糸を引くようになったから、もう食べられないよ。)[市史(高砂町)]

(松倉昂平)

## 18-2 福井県坂井市三国町安島方言

〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

多段型動詞は基幹ア段形に「レル」が、一段型動詞は基幹(＝語幹)に、「来る」は「コ」に「ラレル」が付く。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

- ・マダ ツファレルノネ モツタイネー。(まだ食べられるのにもったいない。)

- ・サブテ イノカレンガ。(寒くて動けないよ。)
  - ・モット チカラオ ダサレレア イーケド  
ナー。(もっと力を出せればいいけどな。)
- (松倉昂平)

## 19 山梨県甲府市方言

### 〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に、「来る」は「コ」に「レル」が付く。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

この他に、多段型動詞の基幹エ段形に「レル」が、一段型動詞の基幹(=語幹)に、「来る」の基幹オ段形「コ」に「レレル」が付く形(いわゆる「レ足す形」)が使用される。これらも一段型動詞に準じた活用をする。「デキル」も「デキレル」とレ足す形になるのは高年層女性に見受けられる。レ足す形の方が可能の度合いが強まると自省する話者が多い。

- ・甲府に行けるよ。(甲府に行けるよ。)
  - ・そこ一行きゃ探せれるら。(そこに行けば探せるだろう。)
  - ・またここで暮らせれるだよ。(またここで暮らせるのだよ。)
- 「できる」は方言形で「デル」となる。「デル」の否定形は「デン」。
- ・勉強のでるぼこはいーじゃんねー。(勉強のできる子はいいですね。)
  - ・「勉強がよくでた。」(勉強がよくできた。)
- (市史)
- ・あそこに道がでて楽になりやしたね。(あそこに道ができて楽になりましたね。)
  - ・ほんなこんおれはでんよ。(そんなことはおれはできないよ。)

(吉田雅子)

## 20 長野県茅野市方言

### 〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力可能専用の可能形がある。

汎用の可能形は、①多段型動詞の基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」

の基幹オ段形「コ」に「レル」が付く形と、②多段型動詞の基幹エ段形に「レル」が、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「レレル」が付く形がある。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は(該当形 欠)とした(デキルが使える可能性があるが確認できていない)。

- ・オラ ジガ ジョーズニ カケレルゾ。(俺は、字が上手に書くことができるぞ。)
- ・コノ ヘヤワ スコシ クライガ メガイーデ ヨメル。(この部屋は、少し暗いけれども、目がいいので、読むことができる。)
- ・コノ キノコワ クエレルゾ。(この茸は、食べることができるぞ。)
- ・アイツァー ナンボデモ クエレルゾ。(あいつはいくらでも食べることができるぞ。)
- ・アイツァー ショクガ ツエーデ ナンボデモ クエル。(あいつは、胃が丈夫なので、いくらでも食べることができる。)
- ・コイツァー マダ クエル。(賞味期限が切れているが)これはまだ食べることができる。(クエールは言わない。))
- ・イマカラ イキヤー マダ ミレレルゾ。(今から行けば、まだ、見ることができるぞ。)
- ・カゼモ ナオッタデ キョーカラ オキレレル。(風邪も治ったので、今日から起きることができる。)
- ・カゼモ ナオッタデ キョーカラ オキレル。(風邪も治ったので、今日から起きることができる。)
- ・ガッコーエ アガッタデ ヒトリデ ネレレルワナ。(学校にあがった(入学した)ので、ひとりで寝ることができるな。)
- ・ガッコーエ アガッタデ ヒトリデ ネレルワナ。(学校にあがった(入学した)ので、ひとりで寝ることができるな。)
- ・クラノ トガ オモイケド アケレルラ。(蔵の戸が重いけれども、開けることができるだろう。)
- ・クラノ トガ オモイケド アケレルラ。(蔵の戸が重いけれども、開けることがで

きるだろう。)

否定の形も同様である。

- ・コノ ペンワ インクガ キレタデ ヘー カケネー。(このペンはインクが切れたので、もう書くことができない。(カケネーは言わない))
- ・コノ カワノ ミズワ ノメネー。(この川の水はノメネー。(ノメネーは言えない))
- ・ベニタケワ クエネー。(毒のある)紅茸は、食べることができない。(クエネーは使わない。))
- ・コイツァー ヘー クエネー。(こいつはもう食うことができない。)
- ・イマカラ イッタジャ ヘー ミレレネーゾ。(今から行ったのでは、もう、見ることはできないぞ。)
- ・コノ エーガワ オッカネーデ コドモワ ミレネーワエ。(この映画は怖いから、子どもは見ることができないよ。)
- ・ジカン ネーデ ヘー イレレネー。(時間がないので、もう居ることができない。)
- ・ココワ アツクテ トテモ イレネー。(ここは、暑くて、とても居ることができない。)
- ・マダ ゴシテーデ オキレレネー。(まだ、疲れているので、起きることができない。)
- ・マダ ゴシテーデ オキレネー。(まだ、疲れているので、起きることができない。)
- ・ヒルネオ シチマッタデ ネレネーヤワイ。(昼寝をしてしまったので、寝ることができない。)

もう一つは、いわゆる能力可能に該当する意味を持つ形である。多段型動詞は基幹エ段形長音に「ル」が、一段型動詞の基幹(語幹)に「レー」が、「来る」「する」の基幹イ段形に「エール」が付く。これらも一段型動詞に準じた活用をする。

- ・アノ コワ マダ チーセーガ ゴーノエオ ジョーズニ カケール。(あの子は、まだ小さいけれども、象の絵を上手に書くことができる。)
- ・アノ ヒトワ ムズカシー カンプンオ ヨメール。(あの人は、難しい漢文を読むことができる。)

- ・コノ ヘヤワ スコシ クレーガ メガイーデ ヨメール。(この部屋は、少し暗いけれども、目がいいので、読むことができる。)
- ・アイツァー ショクガ ツエーデ ナンボデモ クエール。(あいつは、胃が丈夫なので、いくらでも食べることができる。)
- ・カゼモ ナオッタデ キョーカラ オキレール。(風邪も治ったので、今日から起きることができる。)
- ・ガッコエ アガッタデ ヒトリデ ネレールワナ。(学校にあがった(入学した)ので、ひとりで寝ることができるな。)
- ・クラノ トガ オモイケド アケレールラ。(蔵の戸が重いけれども、開けることができるだろう。)
- ・ガッコエ アガッタシ トーキョーカラ ヒトリデ キエールラ。(学校に上がったし(入学したし)東京から一人で来ることができるだろう。)

否定の形も同様である。

- ・コノ エーガワ オッカネーデ コドモワ ミレネーワエ。(この映画は怖いから、子どもは見ることができないよ。)
  - ・ココワ アツクテ トテモ イレネー。(ここは、暑くて、とても居ることができない。)
  - ・マダ ゴシテーデ オキレーネー。(まだ、疲れているので、起きることができない。)
- (大西拓一郎)

## 21-1 岐阜県高山市方言

### 〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と情動的に不可能であることを表す専用の可能形がある。

多段型動詞は基幹ア段形に「レル」が付いた形(カカレル)も伝統的に保存されているほか、基幹エ段形に「ル」が付いた形(カケル)も用いられるが、より一般的には基幹エ段形に「レル」が付いた形(カケレル)が使われる。

- ・ソノ ヒワ ヨーガ アツテ イケレン。(その日は用があって行けない。)

一段型動詞は基幹(=語幹)に「レル」が付いた形(ミレル)、「来る」は「コ」に「レル」が付いた形(コレル)が使われる。「する」については、代替動詞「デキル」のほかに「シレル」も聞かれる。

可能には、情動的に不可能であることを表す「ヨ一カカン」も使われる。反語以外の肯定可能で用いられることはない。

- ・ショタイムンノ ヒトワ ニガテヤデ、ソンナ カイニワ ヨ一 イカン。(初対面の人は苦手だから、そんな会には行けない。)  
(山田敏弘)

## 21-2 岐阜県岐阜市方言

### 〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と情動的に不可能であることを表す専用の可能形がある。

多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が付いた形(カケル)も用いられるが、より一般的には基幹エ段形に「レル」が付いた形(カケレル)が使われる。

- ・その日は用があって行けれん。(その日は用があって行けない。)

一段型動詞は基幹(=語幹)に「レル」が付いた形(ミレル)、「来る」は「コ」に「レル」が付いた形(コレル)が使われる。「する」については、代替動詞「デキル」のほかに「シレル」も聞かれる。

可能には、情動的に不可能であることを表す「ヨ一カカン」も使われる。反語以外の肯定可能で用いられることはない。

- ・初対面の人は苦手やで、そんな会にはよ一行かん。(初対面の人は苦手だから、そんな会には行けない。)  
(山田敏弘)

## 21-3 岐阜県中津川市方言

### 〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に、「来る」は「コ」に「レル」が付く。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

- ・チャント ヨメル ジ カキンサイ。(ちゃんと読める字を書きなさい。)

- ・コノ ビンノ フタ カッターテ アケレンワ。(この瓶の蓋が固くて開けられないよ。)

(野田太暉)

## 22 静岡県湖西市方言

### 〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に、「来る」は「コ」に「レル」が付く。多段型動詞の基幹エ段形に「レル」が付く形もある。一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹エ段形「コ」に「ラレル」が付く形もあるが、共通語という感覚がある。いずれも一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

- ・サンジマデニ ココニ コレル? (3時まででここに来られる?)
- ・「わしゃあどうも、これじゃあとても行けれんよ。」(私はどうも、これじゃあとても行けないよ。)(三ヶ日町「ガニとおにぎり」)  
(森勇太)

## 23 愛知県新城市作手方言

### 〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と情動的に不可能であることを表す専用の可能形がある。

多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が付いた形(カケル)も用いられるが、より一般的には基幹エ段形に「レル」が付いた形(カケレル)が使われる。一段型動詞は基幹(=語幹)に、「来る」は「コ」に「レル」が付いた形(ミレル)が用いられる。「する」は代替動詞「デキル」を用い、老年層で「デキレル」も聞かれる。

- ・ソノ日ワ 用ガアッテ行ケレン。(その日は用があって行けない。)
- ・つれは道の方を向いておったむんで、とっさによけれどが、(友だちは道の方を向いていたので、とっさに避けられたけれど)(村誌)

可能には、情動的に不可能であることを表す「ヨーカカン」のような「ヨー+否定形」も使われる。反語以外の肯定可能で用いられることはない。

不可能の表現としては、多段型動詞は基幹イ段形に、一段型動詞は基幹(=語幹)に「エン」を付けた形も用いられる。

- ・トテモジャナイガ、イキエン。(とてもではないが、私は行くことができない。)

さらに、副詞「ヨー」を前に置き「ヨーイキエン」などとすると、能力や状況から不可能であることを表す。へりくだっているとの意識もある。一方、「ヨーイカン」は、情動的に不可能である場合に用いられる。

- ・ソナ ムツカシー カンジ、ヨー カキエン。(そんな難しい漢字は、書けない。)
  - ・ワタシワ ジガ ヘタダモンデ、ヨー カカン。(私は字が下手だから、書けない。)
- (山田敏弘)

### 25-1 滋賀県長浜市方言

#### 〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力可能専用の可能形がある。

		能力可能	状況可能
書く	肯定	カケル ヨーカク	カケル
	否定	カケヘン ヨーカカン	カケヘン
見る	肯定	ミラレル ヨーミル	ミラレル
	否定	ミラレヘン ヨーミン	ミラレヘン ミラレン

多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に、「来る」は「コ」に「ラレル」が付く。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」「デケル」を用いる。また、「ヨーカク/カカン」のように「ヨー+断定形/否定形」の形も使用される。

「ヨー {肯定/否定}」は能力可能でしか用いられない。「ヨー {肯定/否定}」のうち、肯定形では「カケル」(可能動詞)「ミラレル」(ラレル)の方がよく使われる。

- ・うちの孫はまだ小さくて字を知らないので、

本をよー読めん。(うちの孫はまだ小さくて字を知らないので、本を読むことができない。)

- ・「今どきから送れるかいな。それになあ、ここは静かやけど、沖はようあれとるで、なんぼたのまれても、今晚はかなんわ。」(こんな時間から送れるわけないだろ。それにね、ここは静かだけど、沖はよく荒れているから、どれだけ頼まれても今晚は無理だ。)

(滋賀・「ぼうれいホテル火」)

(酒井雅史)

### 25-2 滋賀県湖東方言

#### 〈可能(肯定・否定)形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力可能専用の可能形がある。

多段型動詞はエ段形に「ル」、一段型動詞は基幹(=語幹)に、「来る」は「コ」に「ラレル」が付く。「する」は代替動詞「デキル」「デケル」を用いる。高年層では「来る」「する」で基幹イ段形に「ラレル」を付けることがある(筧1962によれば、受身形でも)。中年層以下では一段型動詞と「来る」で「ラレル」ではなく「レル」を付けることが増えている。「ル・(ラ)レル」の活用は一段型に準ずるが、命令形を欠く。

不可能を表す場合は可能形の末尾ルを否定接辞に変える。心理的・能力的な障壁によって不可能であることを強調する場合は動詞の前に「ヨー」を置くが、その際は通常の否定形を使うことが多い。

- ・最初からしまいまで言えると座らせてもらえるにやけど、言えんもんは、じーっと立ったままで、言えるまでまた練習して(最初から最後まで言えると座らせてもらえるんだけど、言えない者は、じーっと立ったままで、言えるまでまた練習して)(武邑 p.46)
- ・おひやがこんだけ残ったんで、ごんご一炊いたら、お夕飯はみんなよべられる(冷や飯がこれだけ残っているから、五合炊けば、お夕飯はみんな食べられる)(武邑 p.32)
- ・自慢でけんでよ(自慢できないよ)(武邑

p. 204)

- ・(物価高騰で) よー買わなんだがな、パン一個を(とてもじゃないが買えなかったよ、パン一個を)(武邑 p. 155)

(逸民誠)

## 26 京都府京都市方言

### 〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力可能専用の可能形がある。

		汎用	能力・心情
書く	肯定	①カケル	③ヨー カク
	否定	①カケヘン ②カカレヘン	③ヨー カカン
見る	肯定	①ミレル ②ミラレル	③ヨー ミル
	否定	①ミレヘン ②ミラレヘン	③ヨー ミン

①多段型動詞の基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「レル」が付く形と、②多段型動詞の基幹ア段形に「レル」が、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「ラレル」が付く形がある。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」「デケル」を用いる。また、③「ヨーカク/カカン」のような「ヨー+断定形/否定形」の形もある。③は心情・能力可能の意味でのみ用いられるが、①②は能力可能・状況可能どちらの意味でも用いられる。

- ・「ふたりとも小判をよう受けとらんというのなら、その小判でコイをほってもらい、祇園祭りの山にしたらどうじゃ。」(二人とも小判を受け取れないというのなら、その小判でコイをほってもらい、祇園祭りの山にしてはどうだ)(京都・「鯉山」)

①と②の違いは、表に示したように、多段型動詞の肯定形では②の形があまり用いられないという点にある。

- ・「奈良の大仏つあん、わしゃ、もう、はらがへって、これいじょう動けんわい。」(奈良の大仏さん、私はもう腹が減って動けないよ)(京都・「大仏の食いにげ」)
- ・「あれでは、からすは飛べへんやないか。」(あ

れでは鳥は飛べないではないか)(京都・「さるのう飼い」)

- ・「夜かて、ねようと思えば思うほど、ねつかれへんのどす。」(夜だって、寝ようと思えば思うほど、寝付けないのです)(京都・「あの鬼こわい」)

(松丸真大)

## 27 大阪府方言

### 〈可能(肯定・否定)形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力・心情可能専用の可能形がある。

		汎用	能力・心情
書く	肯定	カケル	ヨー カク
	否定	カカレヘン	ヨー カカン
見る	肯定	ミレル	ヨー ミル
	否定	ミラレヘン	ヨー ミン
来る	肯定	コレル	ヨー クル
	否定	コラレヘン	ヨー コン
する	肯定	《デキル》	ヨー スル
	否定	《デキヘン》	ヨー セン

可能形は、肯定形と否定形とで形が異なる。また、「カケル」「カカレヘン」などの汎用的に使える形式と、能力可能と心情可能で使える「ヨー カク」がある。まとめると上の表のようになる。

汎用の可能肯定形は、多段型動詞の基幹エ段形に「ル」が、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「レル」が付く形である。これらは一段型動詞に準じた活用をする。

一方、汎用の可能否定形は、多段型動詞の基幹ア段形に「レル」が、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「ラレル」が付く形(受身形と同形)の否定形に相当する。

- ・竹やぶの道を行ったらはよう上方へ行けるちゅうのんや。(竹やぶの道を行ったら早く上方へ行けるといいうんだ。)(大阪・「話を買う」)
- ・「そんなにいばったって、きたない田の中でいばるだけや。だいいち、遠いところへ行かれへんやろ、おまえなんか、井の中のカエルやのうて、田の中のタニシどんや。」(そんなにいばったって、汚い田の中でいばる

ただだ。だいいち、遠いところへ行けないだろう、おまえなんか、井の中のカエルじゃなくて、田の中のタニシどんだ。) (大阪・「タニシの負けざらい」)

なお、「する」については、このような形がなく、代替動詞「デキル (デケル)」「デキヘン (デケヘン)」を用いる。

また、動詞の前に副詞「ヨー」をつけて能力可能および心情可能を表す。

- ・それから後、村の人たちの間では、「みのが池には、おとろしいオロチがすんどる。見つかったら、とって食われるぞ。」と言いつたえられ、ながーい間、みのが池には、よう近づかんかったんやで。(それから後、村の人たちの間では、「みのが池には、おとろしいオロチがすんでる。見つかったら、とって食われるぞ。」と言いつたえられ、長ーい間、みのが池には、近づけなかったんだよ。) (大阪・「みのが池のオロチ」)

(野間純平)

## 28 兵庫県神戸市方言

### 〈可能(肯定・否定)形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力・心情可能専用の可能形がある。

		汎用	能力・心情
書く	肯定	カケル	
	否定	カカレヘン カケヘン	ヨー カカン
見る	肯定	ミレル	
	否定	ミラレヘン	ヨー ミン
来る	肯定	コレル	
	否定	コラレヘン	ヨー コン
する	肯定	《デキル》	
	否定	《デキヘン》	ヨー セン

汎用の可能肯定形は、多段型動詞のエ段形に「ル」が、一段型動詞の基幹 (= 語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「レル」が付く形である。これらは一段型動詞に準じた活用をする。

一方、汎用の可能否定形は、多段型動詞の基幹ア段形に「レル」が、一段型動詞の基幹 (= 語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「ラレル」が付く

形 (受身形と同形) の否定形に相当する。なお、否定形では、多段型動詞のみ基幹エ段形に「ヘン」が付き「カケヘン」のようになる場合がある。

「する」はこれらの形はなく、「ヨー スル」または、代替動詞「デキル/デキヘン」を用いる。

また、否定のみで使用される形式として、「ヨーカカン」「ヨーセン」のような「ヨー+否定形」がある。この形は主として能力可能および心情可能で使用される。

- ・マダ チーサイノニ コンナ ムツカシー カンジ カケテ エライネー。(まだ小さいのにこんなに難しい漢字を書けるなんて偉いね。)

- ・コンナ セマイ ミチ ヨー ウンテンセンワ。(こんな狭い道は運転できないよ。)

(酒井雅史)

## 30 和歌山県田辺市龍神方言

### 〈可能(肯定・否定)形〉

肯定形では可能の意味の区別のない汎用の可能形が用いられるが、否定形では能力可能と状況可能で形式の区別がある。

可能形は、接辞自体の種類が多いが、動詞自体の活用を中心に報告するため、ここでは能力・状況可能の別を示さず、接辞も全ては示さない。また、2001年調査では、可能の否定形は調査項目外であった。

能力可能では、「ヨーカカン」、「ヨーミラン」など否定形で「ヨー+動詞否定形」の形が見られ、状況可能でも否定形でカカレヘン (多段型動詞の基幹ア段形に「レル」が付いた形の否定形)、ミラレン (一段型動詞の基幹 (= 語幹) に「ラレル」が付いた形の否定形) のように「(ラ)レン」の形が見られる。肯定形では、多段型動詞の基幹エ段形に「ル」が付く形 (一段型活用)、一段型動詞の基幹 (= 語幹) に「ラレル」 (一段型活用)・「ラレル」 (二段型活用)・「レル」 (一段型活用) が付く形が用いられるが、これらは能力可能、状況可能の区別ははっきりしない。

「ラレル」からの変化と見られる「ヤレル」の形は、「来る」のみに「キヤレル」が見られた。「する」は、可能表現にする場合、代替動詞「デキル」が用いられ、「する」の可能形は確認できなかった。

ただし、2001年調査では、セラルル／セラレル／セレラレルが見られる。また、2017年調査からカカレヘンのように、否定にヘンを使用する例が見られるようになる。

(西尾純二・澤村美幸)

### 31 鳥取県倉吉市方言

〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力・心情可能専用の可能形がある。

多段型動詞の場合、①「カカレル」のように基幹ア段形に「レル」が付く形(受身形と同形)、②「カケル」のように基幹エ段形に「ル」が付く形(可能動詞形)、そして③「カケレル」のように基幹エ段形に「レル」が付く形(①②の混交形と考えられる形)がある。なお、多段特殊型動詞も「シネル」「シネレル」「シナレル」といった形があることが予想されるが、当該形式の使用自体が稀なこともあり、本調査では「シネル」の形しか得られていない。

一段型動詞の場合は、①「ミラレル」のような、基幹(=語幹)に「ラレル」が付く形と、②「ミレル」のような、基幹(=語幹)に「レル」が付く形がある。「来る」も同様に、①基幹オ段形「コ」に「ラレル」が付いた「コラレル」と、②基幹オ段形に「レル」が付いた「コレル」がある。「する」の場合、基本的に代替動詞「デキル」が補充的に使用される。「スラレル」という形(①に相当する形)もあるようだが、古い形と思われる。

以上の諸形式は、いずれも一段型動詞に準じた活用をする。また、いずれも能力可能と状況可能のどちらでも使用される。ただ、①の形は「カカレン」のように否定形で、主に禁止の行為指示表現として使用される傾向がある。

- ・コノ コワ コガナ ムツカシー ジガ {カケル/カケレル} ダジェ。(この子はこんなに難しい字が書けるんだよ。)
- ・神さんは、天福だって言われたに、これは地から出てきたけえ、地福だけえ、取られん。神さまのもんだけえ、取られん。(神様は、天福だっておっしゃったが、これは地から出てきたから、地福だから取れない。神様のものだから取れない。)[鳥取「天福

と地福]」

- ・ウチノ コワ ピーマンガ {クエン/クエレン} ケナー。(うちの子はピーマンが食べられないからな。)
- ・コノ エーガワ エキマエデ {ミラレル/ミレル} ジェ。(この映画は駅前で見られるよ。)
- ・アッチワ アブナイケー イカレン ジェ。(あっちは危ないから行けない(行ってはだめだ)よ。)
- ・オレワ ノミタイケド イマワ ノマレン ダ。(おれは飲みたいけど今は飲めないんだ。)

これに加えて、否定のみで使用される形式として、「ヨーカカン」「ヨーセン」のような「ヨー+否定形」がある。この形は主として能力可能および心情可能で使用される。

- ・コノ コワ マンダ ソガナ ムツカシー ジワ ヨー カカン ワイナ。(この子はまだそんな難しい字は書けないよ。)
- ・×キョーワ エンピツ モットランケ ヨー カカン ワ。(今日は鉛筆を持っていないから書けないよ。)
- ・メンキョワ モットルケドモ ウンテンワ ヨー セン。(免許は持っているけれども、運転はできない。)
- ・×クルマガ チョーシ ワルイケ キョーワ ウンテン ヨー セン。(車が調子が悪いから、今日は運転できない。)

(野間純平)

### 32 島根県出雲市平田方言

〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式は、今までの調査では確認できていない。

多段型動詞の基幹ア段形に「レー」が、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「ラレー」が付く形(受身形と同形)が用いられることが多い。ただし、「カケー(書ける)」のような可能動詞形、「デレー(出れる)」のような所謂ラ抜き形もしばしば用いられる。

- ・モー カンズィガ {カカエー/カケー}。(もう漢字が書ける。)

- ・スモー サイゴマデ {ミラエタ／ミエタ}。  
(相撲を最後まで見られた。)
- ・ライシューモ ヒマダケン コラエー。(来週も暇なので来られる。)  
(平子達也・友定賢治)

### 33 岡山県岡山市方言

#### 〈可能(肯定・否定)形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力・心情可能専用の可能形がある。

汎用の可能形として、多段型動詞の基幹エ段形に「ル」、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「レル」が付く形が用いられる。一段動詞と「来る」については、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「ラレル」が付く形も用いられる。これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

可能否定形では可能肯定形と対応する形として「ン」を後接させる「カケン」「ミレン」「コレン」や「ミラレン」「コラレン」がある。「する」は「デキル」の否定形「デキン」を用いる。

そのほか、「ヨー カカン」「ヨー カケン」のような「ヨー+否定形」と「ヨー+可能否定形」も存在する。これは能力可能・心情可能の否定形として用いられる。

- ・ムズカシー カンジワ {ヨー カカン／ヨーカケン}。(難しい漢字は書けない。)
- ・ホラーエーガワ コウオーテ {ヨー ミン／ヨー ミレン}。(ホラー映画は怖くて見れない。)

(小畠裕将)

### 34 広島県三次市方言

#### 〈可能(肯定・否定)形〉

肯定形と否定形とで形が異なり、また、可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力・心情可能専用の可能形がある。

汎用形の作りかたは次のとおり。

	肯定形	否定形
多段	①エ段+ル	左①の否定形

一般型	「カケル」など ②ア段+レル 「カカレル」など	「カケン」など 左②の否定形 「カカレン」など
多段 特殊型	ア段+レル 「シナレル」など	左の否定形 「シナレン」など
一段型	基幹+ラレル 「ミラレル」など	左の否定形 「ミラレン」など
来る	オ段+ラレル 「コラレル」	左の否定形 「コラレン」

否定形からうかがえるように、これらは一段型動詞に準じた活用をする。多段一般型動詞は、肯定形では①の形が②の形と同等かそれ以上に用いられやすいのに対して、否定形では②が優勢である。「する」にはこれらにあたる形はなく、代替動詞「デキル」とその否定形「デキン」を用いる。汎用形では動作の対象がガ格になるのがふつうである。「デキル」も同様。

- ・コノ カー マダ コマイガ イタシー カンジガ {カケル／カカレル}。(この子はまだ小さいが難しい字が書ける。)
- ・ココア アカルイケー ジガ {カケル／カカレル}。(ここは明るいから字が書ける。)
- ・ハナカー ミチュー シットルケー ヒトリデ コラレル。(花子は道を知っているの、一人で来られる。)

能力・心情可能の肯定形は「ケッコー カク」など副詞「ケッコー」と断定非過去形、否定形は「ヨー カカン」など副詞「ヨー」と否定形で作られる。肯定形で「ヨー」を用いることも可能だが、「ケッコー」のほうが一般的である。否定形では「ケッコー」は不適格である。なお、多段特殊型では肯定「ケッコー」「ヨー」の形が未確認のため、表に記していない。

- ・コノ カー マダ コマイガ イタシー カンジュー ケッコー カクデヨー。(この子はまだ小さいが難しい字が書ける。)
- ・マダ コマイケー イタシー カンジャー ヨー カカンヨー。(まだ小さいので難しい漢字が書けないよ。)
- ・タローワ ヒトリデ ケッコー コノシゴト スル。(太郎は一人でこの仕事ができる。)

(小西いずみ)

### 35 山口県東周防方言

#### 〈可能(肯定・否定)形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力可能専用の可能形がある。

汎用の可能形として、可能肯定形では、①多段型動詞の基幹エ段形に「ル」、一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「レル」が付く形が用いられる。一段動詞と「来る」については、②一段型動詞の基幹(=語幹)、「来る」の基幹オ段形「コ」に「ラレル」が付く形も用いられる。これらは一段型動詞に準じた活用をする。

「する」は代替動詞「デキル」を用いる。可能否定形では、①の否定形「カケン」「ミレン」「コレン」や、②の否定形「ミラレン」「コラレン」が使われる。

さらに能力可能の否定として、「ヨーカカン」「ヨーミン」「ヨーコン」「ヨーセン」のように「ヨー+否定形」が使われる。「ヨー」と①の形の否定形による「ヨーカケン」などの形も存在する。なお「ヨー」の古い形として「エー」があったが、今はほとんど使われない。

- ・私はよーせん。(私はできない。) / 君はよーやらん。(君はできない。)(辞典・「よー」)
- ・よー採れんであーぬいた。(採ることができなくて、当てが外れた。)(柳井・「あーぬく」)
- ・えー読めん。(読むことができない。)(柳井・「えー」)

(船木礼子)

### 37 香川県高松市方言

#### 〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力(心情)可能専用の可能形がある。

汎用の可能形については、肯定の場合、多段型動詞は基幹エ段形に「ル」が付く。また、一段型動詞は基幹(=語幹)に、「来る」は「コ」に「ラレル」が付く。否定の場合、多段動詞は基幹エ段形に「ン」が、一段型動詞は基幹(=語幹)に、「来る」は「コ」に「ラレン」が付く。否定形から判断できるように、これらは一段型動詞に準じた活用をする。「する」には、これらに相当する形がなく、代替動詞「デキル」「デケル」とその否定形

「デキン」「デケン」が用いられる。

また、一段型動詞の「見る」は、状況可能では、代替動詞「ミエル(見える)」とその否定形「ミエン(見えない)」で言ったり、「ミラレル」を含まない他の状況描写の文で表現したりすることが多く(「その映画は駅前の映画館で見られるよ。」を「駅前の映画館に行ったら、その映画をやっているよ。」に対応する文で言うなど)、実際の会話で耳にする頻度は少ない。

なお、汎用形では、動作の対象が、たいていガ格になる。

- ・コノコワ マダ コンマイケド ムズカシー カンジガ カケル。(この子はまだ小さいけれど、難しい漢字が書ける。)
- ・ココワ アカイケニ ジガ チャント カケル。(ここは明るいので、字がちゃんと書ける。)
- ・ヒトリデ オレンワー。(一人でいられないよ。)
- ・モー コナン サムイ トコニワ オレンワー。(もうこんなに寒いところにはいられないよ。)
- ・マダ イネンガー。(まだ帰れないよ。)
- ・ハルニ ナッタラ コトヒラデ カブキガ ミラレル。(春になったら琴平で歌舞伎が見られる。)
- ・ニチヨーワ ミトコーモンガ カカットラケン ミラレンワ。(日曜は『水戸黄門』がかかっているから、見られないよ。)
- ・{ヌクーンナツタンデ/ヌクーンナツタケニ} タイギナシニ オキラレル。(暖かくなったので、楽に起きられる。)

能力(心情)可能に限られる形は、「ヨー」が先行する。肯定の場合は「ヨー」と断定非過去形、否定の場合は「ヨー」と否定形を合わせて作られる。

- ・ハナコワ コンマイケド アサ ヒトリデ ヨー オキル。(花子は小さいが、朝一人でも起きられる。)
- ・ハナコワ マダ コンマイケニ アサ ヒトリデ ヨー オキン。(花子はまだ小さいので、朝一人では起きられない。)

- ・タローワ サカアガリオ ヨー セルゾ。  
(太郎は逆上がりができるよ。)  
(乙武香里)

### 38-1 愛媛県松山市方言

#### 〈可能(肯定・否定)形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力可能専用の可能形がある。

汎用の可能形は、多段型動詞においては「カケル」「シネル」のように基幹エ段形に「ル」が付く。一段型動詞においては「ミレル」のように基幹(=語幹)に「レル」が付く形と、「ミラレル」のように基幹(=語幹)に「ラレル」が付く形がある。「来る」では「コ」に「レル」が付く「コレル」と「ラレル」が付く「コラレル」がある。これらは一段型動詞に準じた活用をする。また「する」にはこれらに当たる形はなく、代替動詞「デキル」を用いる。

否定形では、上の形の否定形「カケン」「ミレン」などのほか、「ヨー カカン」「イエー カカン」など、「ヨー・イエー+否定形」で表される形がある。表には含めていないが「ヨー カケン」「イエー カケン」など、「ヨー・イエー+可能否定形」で表されることもある。「ヨー・イエー」を用いる形は基本的には能力可能の否定形として用いられる。

- ・コノコワ マダ コマイケンド ムズカシーカンジガ カケル。(この子はまだ小さいけれども、難しい漢字が書ける。)
- ・クライケン カケンゾナ。(暗いから書けないよ。)
- ・オソロシーケン ヨー {ミン/ミレン}ワイ。(恐ろしくて見る事が出来ないよ。)  
(久保博雅)

### 38-2 愛媛県大洲方言

#### 〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力・心情可能専用の可能形がある。

まず、汎用の可能形として、多段型動詞は、基幹エ段形に「ル」が付く。これは、語幹に可能接辞/-e/、終止類・接続類の接辞が後続すると分析できる(カケル「書くことができる」←/kak-e-ru/)。一段型動詞は、基幹(=語幹)に「ラレル」「レル」

が付く(ミラレル・ミレル「見ることができる」)。「来る」は、基幹エ段形「コ」に「ラレル」「レル」が付く(コラレル・コレル「来ることができる」)。「する」は、代替動詞「デキル」が用いられる。

- ・フデデ テガミモ カケルノヨ。(筆で手紙も書くことができるのだよ。)
- ・エーガカンデ {ミレル/ミラレル} ヨ。  
(映画館で見ることができるよ。)
- ・ミチ シットイデルケン {コレル/コラレル} ヨ。(道を知っていらっしやるので、来ることができるよ。)
- ・ヒトリデ デキルヨ。(一人でできるよ。)

また、能力・心情可能専用の可能形「ヨー+断定形/否定形」がある。この形は、疑問文では断定形と否定形の両方が用いられるが、平叙文では否定形のみが用いられる。

(宮岡大)

### 39 高知県宿毛市方言

#### 〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力可能専用の可能形がある。

可能形は「カケル・シネル・ミレル・コレル」のように、多段型動詞の基幹エ段形に「ル」、一段型動詞の基幹(=語幹)や「来る」の基幹エ段形「コ」に「レル」が付く形を用いる。「する」は代替動詞「デキル」が用いられる。「セレル」というr語幹化した形もあるが、新しい形式らしく若年層しか用いない。共通語のように、一段型動詞・「来る」の可能形で「ミラレル・コラレル」の形を用いることは少ない。否定形では「カカレン・シナレン・ミラレン・コラレン・セラレン」という基幹に「(ラ)レン」を付加した形が禁止の意味になるため、専ら「カケン・シネン・ミレン・コレン・セレン(デキン)」を用いる。

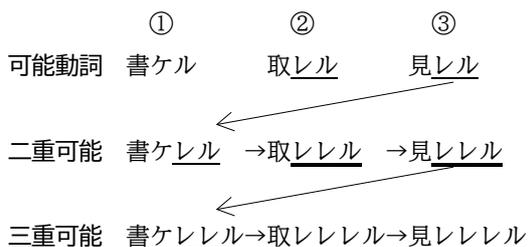
- ・シンポー セレンローカ。(しんぼうできないだろうか。)(方言)
- ・びんぼうで、うまいもんもたべれんし、なんぎなこと多かつた。(昔話・高岡郡葉山村・「山んぼのもち」)

能力可能の表現として「ヨー{カク/カカン}」「ヨー{ミル/ミン}」のように、副詞「ヨー」を各動詞の断定形(あるいは断定否定形)に付加するも

のがある。古くは副詞「エー」も用いられたが、現在の中年層以下は用いなくなっている。なお、「ヨー{カケル/カケン}」「ヨー{ミレル/ミレン}」のように、「ヨー」と可能動詞を組み合わせて能力可能(不可能)を表すこともあるが、あまり生産的ではない。

・セワニ ナリヨッタニー チャント エー シノガラツテ (お世話になっていたのにすっかりしのぐことができなくて。) (大方)

当該方言では可能動詞が早くから定着していた。その結果、非過去断定形の末尾がルの動詞(すなわち多段型 r 語幹、一段型、「来る」「する」)が「～レル/レン」の形を持つことになる。この「～レル/レン」を、末尾がル以外の活用をとる動詞に適用した二重可能形式が発生している。この二重可能化は、少し遅れて末尾がルの動詞にも波及している。例えば、「書ケレル・読メレル」(以上、非過去断定形の末尾がル以外の動詞)、「取レレル・見レレル・来レレル」(末尾がルの動詞)のような形である。この変化は、能力可能/状況可能といった可能の意味に関わりなく起こっている。また、否定形の方が変化が早い。さらに若年層では、「～レレル/レレン」を非過去断定形の末尾がル以外の動詞に適用した三重可能形式も現れつつある。つまり、当該方言では下図のようにサイクリックな変化が起きているのである(①は多段型非 r 語幹、②は多段型 r 語幹、③は一段型を表す)。



- ・コドモニ トレレルカヨー。(子供に取ることができるものか。) (方言)
- ・モー タベレレンローカネー。(もう食べられないでしょうか。) (方言)
- ・ソレガ セレレンニカーラン。(それができないらしい。) (方言)

(松丸真大)

#### 40-1 福岡県福岡市方言

#### 〈可能形〉

能力可能と状況可能の区別があり、前者を①「～キー/～キル」で、後者を②「～ルー/～ルル」で表す。能力可能のほうは、若年層では「～キル」がやや多く用いられているようである。「～ルー/～ルル」は受身形と同形で、「カカルー/カカルル」「ミラルー/ミラルル」「コラルー/コラルル」「サルルー/サルル」となる。「～ルル」の使用頻度はやや低い。世代が下がるにつれて、「カカレル」「ミラレル」「コラレル」「サレル」といった一段型の接辞「レル」が用いられる。若年層になると状況可能を表す「～ルー/～ルル」は全く使用されなくなっている。その代わりに、③多段型動詞の基幹エ段形に「ル」が付く「カケル」などの形が用いられるようになっていく。また、一段型動詞や「来る」でも「ミレル」「コレル」といった一段型動詞の基幹(=語幹)や「来る」の基幹オ段形「コ」に「レル」が付く形が盛んに使用されるようになっていく。「する」は代替動詞「デキル」を用いる。

「～キル」は若年層でもまだ能力可能として使用されているが、③の形は能力可能や状況可能といった区別をもたない。よって、若年層では状況可能の専用形式は失われていることになる。

- ・おまえ車運転しきるや？(おまえ車運転できるか?)
- ・プールに水が入ると一けん、今日は泳がれるぜ。(プールに水が入ってるから、今日は泳げるよ。)

そのほか可能にかかわる形式として、時間的な余裕があるかどうかといった条件に言及する「～オーセル」もある。「カキオーセル」「ミオーセル」「キオーセル」「シオーセル」などとなるが、現在ではほとんど聞かれなくなっている。

- ・もう5時ばってん買いおせるかいな？(もう5時だけど買えるかな?)

(平塚雄亮)

#### 40-2 福岡県柳川市方言

#### 〈可能形〉

可能の意味を区別する形式がある。可能を表す形式には、「キル」を用いたものと「ルル」や「ラルル」を用いたものがある。本稿が対象とする話者が両形式をどのように使い分けているかは不明

であるが、近隣方言では、いわゆる能力可能を表す場合に「キル」を、状況可能を表す場合に「ルル」や「ラルル」を用いるという指摘があり（九州方言学会 1969：94-97、ほか多数）、同様の使い分けがなされている可能性がある。なお、筆者の内省では、「キル」は渋谷（2006：65）の分類でいう心情可能、能力可能、内的条件可能を、「ルル」や「ラルル」は能力可能、内的条件可能、外的条件可能を表す場合に用いる。筆者の内省による例を、以下に示す。

- ・ワタシワ パクチーフ スカンケン タベキラン。(私はパクチーは嫌いなので食べられない (心情可能)。)
- ・アレルギーヤケン ソバワ {タベキラン / タベラレン}。(アレルギーだから、蕎麦は食べられない (能力可能)。)
- ・オナカノ イタカケン ゴハンワ {タベキラン / タベラレン}。(お腹が痛いから、ご飯は食べられない (内的条件可能)。)
- ・ソレワ ネマツトルケン タベラレン。(それは腐っているから食べられない (外的条件可能)。)

以下では、本稿が主な対象とする 80 代の話者のデータを示す。「ルル」や「ラルル」を用いた形式は受身形と同じで、多段型動詞は基幹ア段形に「ルル」が、一段型動詞は基幹 (= 語幹) に「ラルル」が、二段型動詞は基幹エ段形に「ラルル」が付く。不規則動詞に関して、「来る」は基幹オ段形に「ラルル」が付く、「する」は基幹ア段形に「ルル」が付く。これらは二段型動詞に準じた活用をする。

- ・ドーシドーシ ハナシヨルケン オモタゴト ハナサルル。(友達どうして話しているから、思っているように話すことができる。)
- ・テレビモ ミラルル。((故障したテレビを修理したので)テレビも見ることができる。)

「キル」を用いた形式に関して、多段型動詞は基幹イ段形に、一段型動詞は基幹 (= 語幹) に、二段型動詞は基幹エ段形に「キル」が付く。不規則動詞に関して、「する」は基幹イ段形に、「来る」は基幹イ段形に「キル」が付く。

- ・ナンデン カキキル。(なんでも書ける。)
- ・メンドー ミキル。(面倒を見ることができ

る。)

- ・カタカ モンモ タベキル。(固いものも食べることができる。)
- ・ケンカ シゴツバ シキルカ。(こんな仕事ができるか。)
- ・ヒトツデ キキル。(一人で来られる。)

なお、北部九州方言では長崎などを中心に、1モーラの語幹に「キル」が接続する場合に語幹が長母音化する (例：シーキツゴト「することができるように」) 方言もあるが (愛宕 1978：135)、柳川市方言においては同様の現象は確認していない。

「キル」は、多段型動詞に準じた活用をする。過去の例を、以下に示す。

- ・ムカシワ タベキツタバツテン イマワタベキラン。(昔は食べることができたけど、今は食べられない。)

〔引用文献〕

愛宕八郎康隆 (1978) 「肥前長崎地方の「～キル」「～ユル」について」『長崎大学教育学部人文科学研究報告』27：135-144.

九州方言学会 (編) (1969) 『九州方言の基礎的研究』東京：風間書房.

渋谷勝己 (2006) 「自発・可能」小林隆 (編) 『方言の文法』47-92. 東京：岩波書店.

(松岡葵)

#### 41 佐賀県武雄市北方方言

##### 〈可能形〉

可能を表す形は「カカルツ (書ける)」など多様であるが、ここでは「ユツ」を付す形を示す。能力可能、状況可能など、意味的な特徴は未詳である。

- ・カキユツゴト ナツタ。(書けるようになった。)
- ・ヒトイデン オイユツカー。(一人でもいられるか。)
- ・ミユツ。(見られる。)
- ・キーユツ。(来られる。)
- ・シーユツ。(できる。)

多段型動詞は基幹イ段形に、一段型動詞は基幹 (= 語幹)、二段型動詞は基幹エ段形に「ユツ」が付く。「オイユツ (いられる)」が特殊で「イ」となるのかどうかは不明である。「クツ (来る)」「ス

ッ(する)は基幹末母音が長音になる点が特徴的である。この「ユッ」による可能形の活用は現段階では不明である。

(原田走一郎)

#### 42-1 長崎県雲仙市南串山町鬼池方言

〈可能形〉

可能の意味を明確に区別する形式はない。

可能形は大きく3つに分類できる。基幹に「レル」「ルル」「ラルル」を後接するもの、基幹に「エル」「ユル」を後接するもの、基幹に「キル」を後接するものである。状況可能、能力可能に対する明確な使い分けはみられず、上記3分類の可能形は、概ねいずれの用法にも使用されるようであるが、本調査においては話者によって違和感があるとされる場合も若干みられた。

多段型動詞では、表に示すように、後接の接辞により基幹が異なる。「レル」「ルル」はア段形のみ、「エル」「キル」はイ段形のみに後接し、「ユル」はア段形とイ段形の両方に後接する。

表 多段型動詞における可能形

多段型	基幹	後続の接辞				
		カカ	レル	ルル	ユル	キル
書く	カカ					
	カキ			エル	ユル	キル

「レル」「エル」は一段型動詞、「ルル」「ユル」は二段型動詞、「キル」は多段型動詞に準じた活用をする。

- ・コンコワ マダ コマンカバツテン ムズカシカ カンジバ カキユル。(この子はまだ小さいけれども、難しい漢字が書ける。)
- ・コンコワ マダ コマカケン ムズカシカ カンジバ カッキラントバイナー。(この子はまだ小さいから、難しい漢字が書けないんだろう。)

一段型動詞では基幹(=語幹)に、二段型動詞では基幹エ段形に「レル」「ラルル」「エル」「ユル」「キル」が付く。

- ・ハナコワ コマンカバツテン シツカリシトルケン ヒトツデ エーガバ ミーキツトバイ。(花子は小さいがしっかりしているから、一人で映画を見られるんだ。)
- ・ウンドージョーナラ ホンキデ ポールバ

ナゲユル。(運動場なら、本気でボールを投げることができる。)

「来る」の可能形には、「キーエル」「キ(一)ユル」「キーキル」が使われる。可能肯定形「コレル」「コラルル」は使用しにくい、その否定形「コレン」「コラレン」は自然に使われる。

- ・エキカラ チカカケン アルイテ キーキル。(駅から近いので歩いて来られる。)
- ・タローワ クルバツテン オイワ {コレン/コラレン}。(太郎は来るけど、自分は来られない。)

「する」の可能形は「サレル」「サルル」「シキル」である。「シーエル」「シーユル」は使用しにくい、不可能「シーエン」は自然に使われる。

- ・コガン テンキジャ ツリヤ シーエン。

(こんな天気では、釣りはできない。)

多段型以外で、基幹が1モーラの動詞が「エル」「ユル」「キル」に接続する場合、しばしば基幹末母音が長音化する。

(野田智子・東出朋)

#### 42-2 長崎県佐世保市宇久町方言

〈可能形〉

能力可能と状況可能で形式の区別がある。

可能形は3つある。ひとつは、多段型動詞と「する」の基幹ア段形に「ユル」を後接する形式である。一段型動詞はr語幹化した「ミラユル」、「オキラユル」が用いられる。二段型動詞は基幹エ段形に、「来る」は基幹イ段形に「ヤユル」を後接する。「ユル」、「ヤユル」は二段型動詞に準じた活用をする。

- ・イツモ ケーコ シチョーテン サーユウダイ。(いつも稽古をしているからできるよ。)
- ・シマニ キヤエン。(島に来ることができない。)

もうひとつは、多段型動詞と「する」の基幹ア段形に「ルル」を後接する形式である。一段型動詞はr語幹化した「ミラルル」、「オキラルル」が用いられる。二段型動詞は基幹エ段形に、「来る」は基幹オ段形に「ラルル」を後接する。「ルル」、「ラルル」は二段型動詞に準じた活用をする。

- ・フネノ デンテン ノラレン。(船が出ない。)

から乗ることができない。)

- ・キカイノ ヨーナッタテン キョーワ シゴツノ サーレイヨ。(機械が直ったから今日は仕事ができるよ。)

最後に、多段型動詞と「来る」、「する」の基幹イ段形に、一段動詞の基幹(=語幹)に、二段型動詞の基幹エ段形に「キル」を後接する形式である。

- ・ピンブージャケン ナンモ カイキラン。(貧乏だから何も買うことができない。)
- ・イッモ ケーコ シチョーケン シーキーダイ。(いつも稽古をしているからできるよ。)

これらの可能形は、能力可能には「ユル・ヤクル」と「キル」、状況可能には「ルル・ラルル」が用いられる。能力可能の2つの形式のうち、「ユル・ヤクル」が伝統的な宇久町方言と考えられ、「キル」は新しい形式である。

(門屋飛央)

#### 44-1 大分県由布市庄内町方言

##### 〈可能形〉

能力可能と状況可能の区別がある。

		能力可能	状況可能(内的条件可能と外的条件可能)
多段型 書く	肯定	カキキル	カケルル カケル カカルル
	否定	カキキラン	カケレン カケン カカレン
一段型 見る	肯定	ミキル	ミルル ミレル ミラルル
	否定	ミキラン	ミレン ミラレン

能力可能、状況可能の区別は、「動作主体の身体内か外か」、「ある程度永続的なことか一時的か」という基準によりなされる。能力可能は「身体内」かつ「永続的」、状況可能は「身体外」かつ「一時的」である。明確とは言いきれないが状況可能の下位区分として、さらに2つに区分の傾向がある。「身体内」で「一時的」な内的条件可能は多段型

動詞で「エ段形+ルル」と「エ段形+ル」(カケルル/カケル)、一・二・三段型動詞で「基幹+ルル」(ミルル、アケルル、オケルル)の形で使われやすい。一方、「身体外」で「一時的」な外的条件可能は多段型動詞で「ア段形+ルル」(カカルル)、一・二・三段型動詞で「~ラルル」(ミラルル、アケラルル、オケラルル)が使われやすい。とは言え、能力可能の「キル」以外の意味区分はそれほど明確ではない。

- ・シニンノ カオワ ミキラン。(死者の顔を見ることができない。)<主体内・永続的>
- ・メノ チョーシガ イーキ ナンボデン テレビガ {ミレル/ミラルル}。(目の調子がいいから、いくらでもテレビが見られる。)<主体内・一時的>
- ・コンヤワ ハヨー カエルキー タイガドラマオ ミラルル。(早く帰るから、大河ドラマを見ることができ。)<主体外・一時的>

内的条件可能の場合、動詞連体非過去形に「コトガ デクル/デケン」を続ける形も用られる。

- ・テワ チョーシガ イーキ ナンボデン {カケル/カクコトガ デクル} デー。(手は調子がいいから、いくらでも書くことができるよ。)<主体内・一時的>

他にも、「(シ)ダサン(できる機会がないのでできない)」、「(シ)オーセン(能力や時間不足でできない)」、「(シ)コナサン(能力や時間不足でできない)」などの形で不可能を表すことがある。

「キル」は多段型 r 語幹、「~ルル」は二段型と同様に活用する。

(松田美香)

#### 44-2 大分県日田市天瀬町方言

##### 〈可能形〉

能力可能、内的条件可能、状況可能の区別がある。

能力可能と状況可能の区別は西日本を中心に日本各地で認められるのもので、「動作主体の身体内：外」かつ「ある程度永続的：一時的」という対立的な意味を持つ。さらに、この方言には、渋谷(1993)で「内的条件可能」とされる、「身体内」かつ「一時的」な(不)可能で、能力可能と状況

可能の間に位置する意味区別が存在する。日高(1991)では、「主観状況可能」と命名されている。

能力可能は、多段型動詞のイ段形、一段型・二段型動詞の基幹、「来る」は「キ」、「する」は「シ」に「キル」を後接した形を用いる。状況可能は受身形と同様の形式を用いる。「内的条件可能」は、多段型動詞のエ段形、一段型・二段型動詞の基幹に「ルル」を付ける。いわゆる「二重可能形」(渋谷:1993、松田:2005など)の形で使われる。

		能力可能	内的条件可能	状況可能
多段型 書く	肯定	カッキル	カケルル	カカルル
	否定	カッキラン	カケレン	カカレン
一段型 見る	肯定	ミキル	ミレルル	ミラルル
	否定	ミキラン	ミレレン	ミラレン

「する」は、他の型からの類推で「セレルル(否定形セレレン)」という独自の形が作られた。

「内的条件可能」の使用は、疑問形と否定形に偏る。しかし、「気持ち」「価値観」「体調」などが条件となった(不)可能を表す際に、他の形式では代替できないことから、この方言においては区別されていると見なせる。

- ・ハナコワ チーサーケド ヒトリデモ オキキルヨ。(花子は小さいけれど、一人でも起きられる。能力・肯定)
- ・タローワ メンキョオ モッチョルキ ヒトリデ コノシゴツ サルル。(太郎は免許を持っているから、一人でこの仕事ができる。能力・肯定)
- ・コン ヤリカタナラ ラクニ シナルル。(この方法なら楽に死ぬる。状況・肯定)
- ・ソナナ バラカシーコトジャ シネレン。(そんなばからしいことでは死ぬない。内的条件・否定)
- ・ヨムヒマモナイシ ヨメレント オモーキモアタラシーノワ シンブンワ トリマセーン。(読む暇もないし、読めないと思うから、もう新しいのは、新聞はとりません。内的条件・否定)

〔引用文献〕

渋谷勝己(1993)「日本語可能表現の諸相と発展」『大阪大学文学部紀要』33巻1分冊 大阪大学

文学部

日高貢一郎(1991)「第五章 第一節 可能表現」大分県総務部総務課編『大分県史 方言篇』263-272  
大分県

松田美香(2005)「表現が生まれるときー可能表現ー」『日本語学』、24-14

(松田美香)

#### 46-1 鹿児島県鹿児島市方言

〈可能形〉

「～ガナツ」を用いた「カッガナツ」「ウケガナツ」「ミガナツ」「キガナツ」「シガナツ」、「～(ラ)ルツ」を用いた「カカルツ」「ウケラルツ」「ミラルツ」「コラルツ」「サルツ」などとなる。「～ガナツ」は助詞ガに動詞「なる」がついたものである(助詞はワやモなどにも代わりうる)。よってガの前につく形は名詞ということになる。多段型動詞は基幹イ段形、二段型動詞は基幹エ段形、一段型動詞は基幹(＝語幹)、「来る」・「する」は基幹イ段形をとる。「～ガナツ」は多段型動詞に準じた活用をする。

・アタヤ ナンデン シガナツド。(私は何でもできるよ。)

「～(ラ)ルツ」は受身形と同様の形をとり、多段型動詞は基幹ア段形に「ルツ」が、一段型動詞は基幹(＝語幹)に「ラルツ」が、二段型動詞はエ段形に「ラルツ」が、「来る」は「コ」に「ラルツ」が、「する」は「サ」に「ルツ」が付く。二段型動詞に準じた活用をする。

なお、現在では能力可能と状況可能を特に区別しないが、若年層の一部では能力可能に「～キル」の使用がみられる。

(平塚雄亮)

#### 46-2 鹿児島県甑島里方言

〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力可能専用の可能形がある。

里方言は可能形に富み、「キー」「ガナイ」「(ラ)ルイ」「ダス」の4つがさまざまな意味を担っている。「(ラ)ルイ」は、多段型動詞と「する」の基幹ア段形に「ルイ」、一段型動詞の基幹(＝語幹)、二段型動詞の基幹エ段形、「来る」の基幹オ段形に「ラルイ」が付く。「キー」「ガナイ」「ダス」は、

多段型動詞の基幹イ段形、一段型動詞の基幹(=語幹)、二段型動詞の基幹エ段形、「来る」・「する」の基幹イ段形に付く。このうち「キー」は能力可能の専用形式である。また、多段型動詞は共通語の影響を受けた「カクイ」(「書ける」に相当)なども聞かれるようになってきている。「キー」「ガナイ」「ダス」は多段型動詞に準じた活用をし、「ルイ」「ラルイ」は二段型動詞に準じた活用をする。

- ・アッカー クルマ ウンテン シキートン? (おまえは車を運転できるの?)
- ・プーリー ミズン ハイットイデー オジガルイドー。(プールに水が入っているから泳げるよ。)
- ・モー ゴジヤイバッテカ カイダスチューン? (もう5時だけど買えるの?)

(平塚雄亮)

#### 47-1 沖縄県那覇市首里方言

##### 〈可能形〉

能力可能と状況可能の形式の区別があり、連用語幹の基幹イ段形に「-ユースン」が後接すると能力可能を表し、基本語幹の基幹ア段形に「-リーン」が後接すると状況可能を表す。能力可能の断定の非過去形「-ユースン」は、否定形では「-ユースン」、連体形では「-ユースル」、過去形では「ユースン」になる。状況可能の断定の非過去形「-リーン」は、否定形では「-ラン」、中止形では「-ティ」、過去形では「-ツタン」になるなど、受身形と同じ変化になる。

- ・ウッサ ヤレー ムチユースサ。(それだけなら持てるよ。)
- ・クマー デンキヌ チチョークトゥ ユマリーンドー。(ここは電気がついているから[明るいので]読めるぞ。)

(仲原穰)

#### 47-2 沖縄県宮古島市平良下里方言

##### 〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

基幹イウ段形に「ウーシウ」がついて可能をあらわす。

また受身形で示した「イイウ」、「ライイウ」も可能の意味をあらわす。平良下里方言では両形と

も能力可能、条件可能の区別なく用いることができる。

- ・ウトウトー ジューユ カキウーシウ(弟は字を書くことができる)。
- ・ウトウトー ジューユ カカイドウ ッシウ(弟は字を書くことができる)。
- ・アミ ヤラバマイ イカイドウ ッシウ(雨でも行ける)。
- ・アミ ヤラバマイ イキウーサイサイ(雨でも行けるよ)。

(中本謙)

#### 47-3 沖縄県宮古島市久松方言

##### 〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

動詞の可能形は受身形と同じであり、 $V_{III}$ は基幹3に「-レーヅ」が付き、 $V_I$ は基幹3に「-(ラ)レーヅ」がつくことによって形成される。

また、 $V_I$ の断定非過去形は文末にある場合、基幹母音の「・ヅ」が省略できないことをすでに言及した。しかし、「-(ラ)レーヅ」は $V_I$ に準じて活用するにもかかわらず、断定非過去形として文末にあっても、「・ヅ」が省略されることが可能である。

- ・シュクダイユ シーチカー、アツピガ イカレー (ヅ)。(宿題をしたら、遊びに行ける。)

なお、可能の意味で使われる場合は、述語焦点形の「-(ラ)レドウス」の形で使われることが多い。この形は可能接辞の「-(ラ)レー」に、焦点助詞の「ドゥ」と軽動詞「する」の接語形「ス」が後続することによって形成された形式である。なお、動詞の述語焦点形は動詞の断定非過去形が焦点化した形式である。すでに「断定非過去形」で言及したように、断定非過去形は意志や予定を表すことがほとんどなく、存在や可能の状態、習慣、恒常的な事実などを表すことが多い。また、そのため、述語に焦点が来る場合(できることが問題となるのではなく、そのことができるかどうかという能力の有無が問題となる場合)、この形式が使われることが一般的である。

- ・ウヌ ッファガマー ンナマ ヤラビガマ スガドウ、ムズカス ズーユバ カカレー

ドゥス。(その子はまだ小さいけど、難しい字が書ける。)

また、不規則動詞「来る」の可能形は「クー(ラレー (ツ))」である。

(陶天龍)

#### 47-4 沖縄県多良間島方言

##### 〈可能形〉

能力可能、状況可能などの可能の意味を区別する形式はなく、汎用の可能形が用いられる。

共通語の多段型動詞(五段動詞)では「飛ぶー飛べる」のような基本態と新参の可能動詞の対立が一般的なものとなり、受身形(\*トバレル)と同音の可能形はほとんど用いられない。だが多良間島方言ではどの類の動詞も受身形と同音の形式があらわれている。

・アシャムヌーウ スコーリッティーカライディライリ°(朝ご飯を支度してから出かけられる)

なお「ミーリ°」(見る)には、同形の可能動詞「ミーリ°」と可能形「ミーライリ°」の2つがある。前者は「見える」に、後者は「見られる」に対応する形式である。

また共通語の「できる」、「わかる」に相当する形式も、「する」(スー)、「知る」(ツスー)に接辞「-イリ°」が後接した形式が用いられている。なお、近年は共通語からの類推によって生じた新語「ディキリ°」(できる)も用いられている。

・アンー ヌーガ シライリ°ナーティーイ°ータカー、(私に何ができるねと言ったら、)  
・スーヤッサーリ° ミツ アリー ^ムメナラーバ ツサイリ°ダラーナー(分かりやすい道だからもう習ったらわかるだろうよ)

(下地賀代子)

#### 47-5 沖縄県竹富町黒島方言

##### 〈可能形〉

可能の意味の区別なく用いられる汎用の可能形と能力可能専用の可能形がある。

汎用の可能形は受身形と同様に、多段型動詞は基幹ア段形+リル、二段型動詞は基幹イ段形+ラリルの形をとる。無論、受身と異なり、自動詞も

可能の接尾辞が後接可能である。この可能形は二段型の活用をする。

・ンジラリル。(出られる。)

能力可能専用の可能形はッセンである。多段型動詞、二段型動詞ともに、基幹イ段形にッセンを付す。このッセン自体は不規則な活用を示す。

・ユミッセン。(読むことができる。)

・ウイッセン。(泳ぐことができる。)

(原田走一郎)

#### 47-6 沖縄県与那国方言

##### 〈可能形〉

可能の意味を区別する形式がある。

可能形には、A) 受身形と同形の「リルン」、B) 動詞の第一中止形とツン(知る)とが組み合わった形、二つがある。基本的に、Aタイプは条件(状況)可能を表す。Bタイプは能力可能を表す。

可能形Aは、三段一般型のr語幹動詞と同じように活用する。但し、第二過去形を持たないこと、否定形は、基幹ア段に「ニヌン」を後接させること(語幹末子音に-aninunを後接させる)という特徴がある。

・ナイヤ ディン ハライバドゥ、アンバリルン。(今はお金を払えば、遊べる。)

・アッタヤ ヌマニヌンイエー。(明日は飲めないねえ)

可能形Bは、動詞の第一中止形と組み合わせる、三段一般型のts語幹動詞ツン(知る)と同じように活用する。但し、三段一般型のts語幹動詞ツン(知る)の第一過去形が「ツタン」となっていて、他の三段一般型のts語幹動詞の第一過去形とは違っていること、第二過去形を持たないという特徴がある。可能形Bの否定形は、語幹末子音tsに-anunを後接させる。

・カヌ アブヤ ドゥーヤ グマタティドゥブガ、インサル ムヌタン カタミツンドー。(あのおばあさんは体は小さいが、重いものなども担げるよ。)

・サギ ヌミツアヌンディ インドゥドー。(酒が飲めないと言うんだよ。)

(目差尚太)